SANDEN

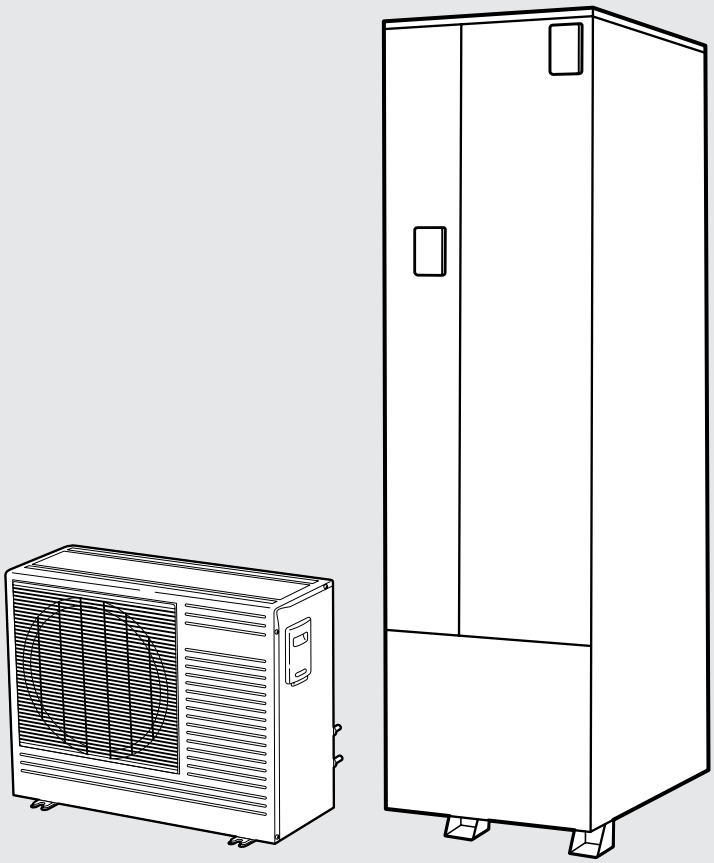
自然冷媒CO_2ヒートポンプ給湯機

本体セット　EBS-46QTA2	
貯湯タンクユニット	EB-46QTA2
ヒートポンプユニット	EB-60HPA2
台所リモコン	EBK-DRA2
ふろリモコン	EBK-FRA2

本体セット　EBS-37QTA2	
貯湯タンクユニット	EB-37QTA2
ヒートポンプユニット	EB-45HPA2
台所リモコン	EBK-DRA2
ふろリモコン	EBK-FRA2

取扱説明書

このたびは、お買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、ご家族全員で安全に正しくお使いください。
お読みになったあとは、「保証書」とともに大切に保管し必要なときにお役立てください。



SAVE　省エネで　守る環境　豊かな暮らし

この取扱説明書は再生紙を使用しています。

もくじ

ご使用の前に

ご使用の前の知識 ……1
安全のために必ずお守りください ……2
各部のなまえ
　貯湯タンクユニット ……7
　ヒートポンプユニット ……7
　台所リモコン（操作部）／（画面表示部）……8
　ふろリモコン（操作部）／（画面表示部）……10

使いかた

現在時刻の合わせかた ……12
運転モード切替を行う ……13
各運転モードの詳細
　おまかせ運転モード ……14
　深夜のみ運転モード ……17
　マニュアル運転モード ……18
多量のお湯を使用したいとき ……19
給湯温度を決める ……21
ふろ自動運転を行う ……23
　ふろ温度設定 ……24
　ふろ水位設定 ……25
　おふろのお湯を足す（たし湯）……26
　おふろに熱いお湯を足す（差し湯）……27
　おふろに水を足す（差し水）……28
　ふろ保温時間を変更する ……29
追いだき運転を行う ……30
おふろの水の排水について ……31
ふろ配管の自動洗浄について ……31
通話 ……32
浴室モニター ……33
チャイルドロック ……34
ふろ配管の手動洗浄 ……35
ふろ予約 ……36
上手な使いかた
　夜間セーブ ……38
　エコ休止 ……39
各設定の変更
　リモコン音量 ……40
　音声ガイド ……41
　操作音 ……42
　表示の節電 ……43
情報を見る（ナビモード）……44
　節電ナビ ……45
　運転時間 ……46
　使用湯量 ……47
数日間お湯を使用しないとき（運転休止）……48
長期間お湯を使用しないとき ……49
凍結予防 ……50
定期点検 ……51

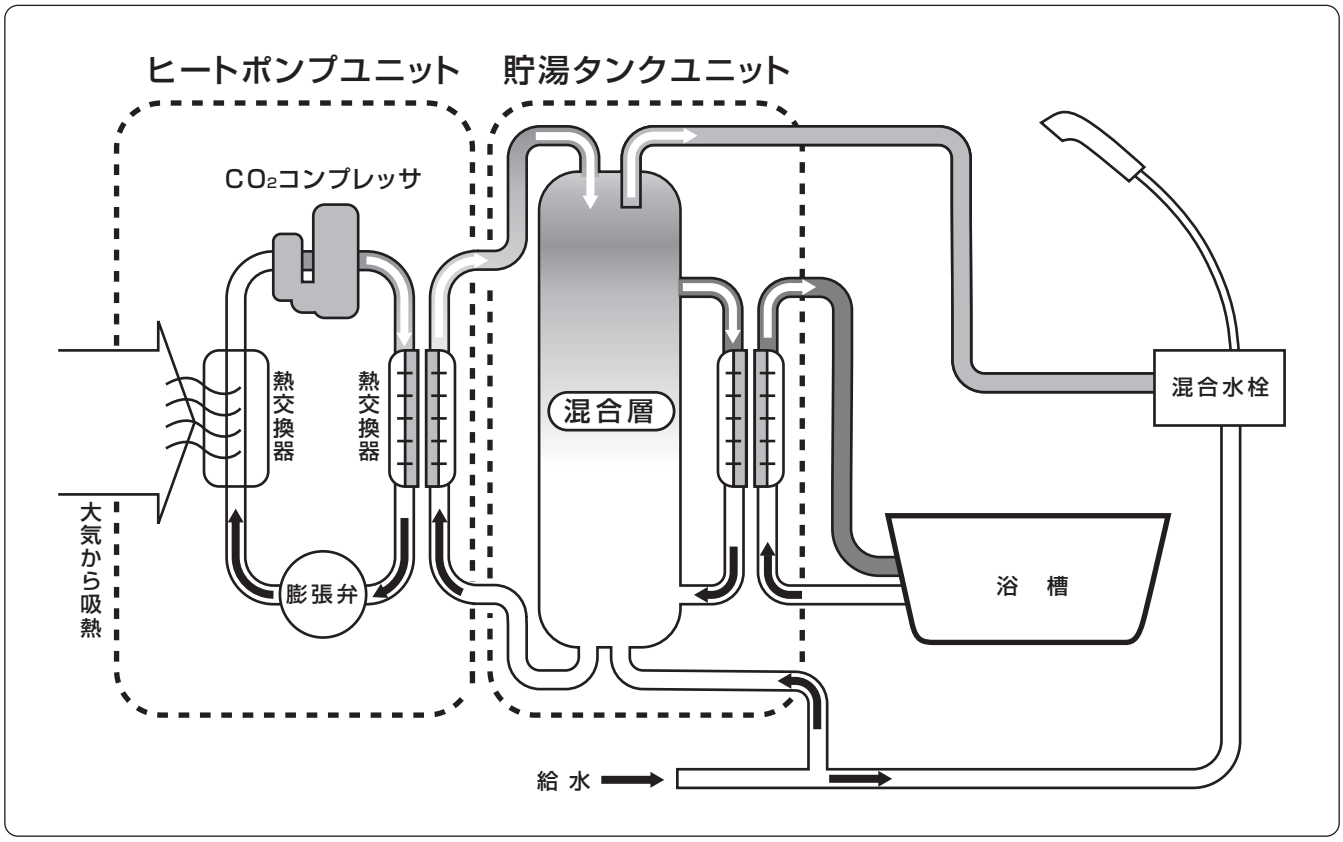
お手入れ・その他

お手入れのしかた ……52
知っておいていただきたいこと ……54
契約電力制度について ……57
停電・断水のとき・災害時のとき ……58
故障かな？と思ったら
　修理を依頼される前に ……59
　リモコンにエラー表示された場合 ……61
　エラー表示がない場合 ……62
仕様 ……64
アフターサービス ……66
　連絡先（電話番号）について ……66

サンデン株式会社

ご使用の前の知識

ヒートポンプ給湯機のしくみ



自然冷媒ヒートポンプ給湯機とは、ヒートポンプユニット内に封入された冷媒（CO_2)の働きを利用し、熱交換器で大気の熱を集め、お湯を沸かし、タンクユニットに貯湯し利用するシステムです。そのためタンク満たんまでの沸き上げに時間を要します。
また、冷媒には自然冷媒（CO_2）を使用し、地球環境に配慮したヒートポンプ給湯機です。

時間帯別電灯契約ができます

機器の性能を最大限に発揮させ、経済的に運転するために電力会社と時間帯別電灯／季節別時間帯別電灯契約をおすすめします。
契約方法は電力会社または販売店までご相談ください。

安全のために必ずお守りください

安全に使用していただくための重要な項目ですので必ずお読みください。

ここに示した事項は、安全に関する重大な内容の記載です。表示と意味は次のようになっています。

⚠警告 誤った扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性が大きいもの。

⚠注意 誤った扱いをしたときに、傷害や物的損害に結びつく可能性が大きいもの。

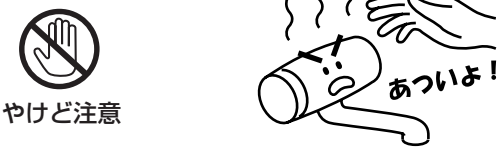
本文中に使われている図記号の意味は次のとおりです。

「禁止」事項	分解・修理・改造禁止
「実施」事項	接触禁止

アース線接続

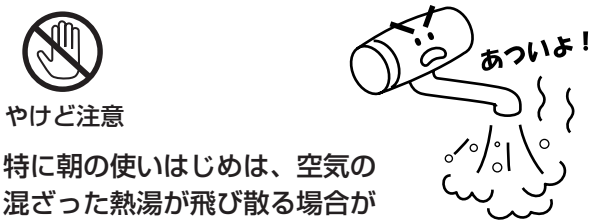
⚠警 告

給湯時は湯水混合栓に手を触れない



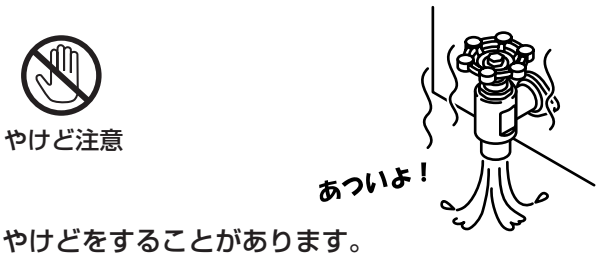
やけどをすることがあります。

使いはじめはやけどに注意する



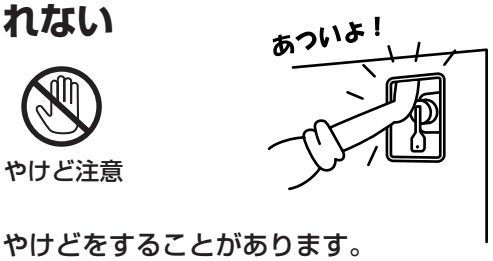
特に朝の使いはじめは、空気の混ざった熱湯が飛び散る場合があります。

排水時はお湯に手を触れない



やけどをすることがあります。

逃し弁点検時は内部の配管に手を触れない



やけどをすることがあります。

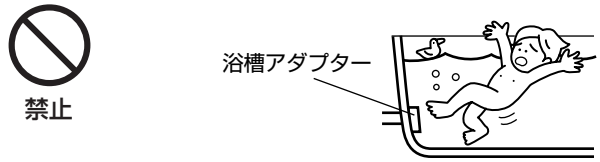
追いだき運転を行うときは、浴槽アダプターから離れる

やけどをすることがあります。

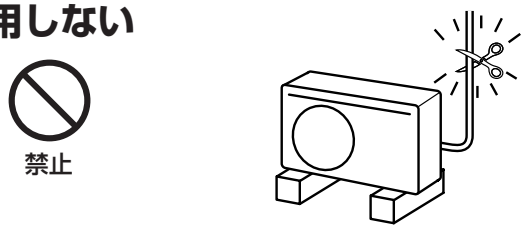
浴槽にお湯がないときは、追いだきスイッチを押さない

やけどをすることがあります。
浴槽にお湯がないときも、追いだきスイッチを押すと浴槽アダプターから熱いお湯が出ます。浴槽や浴槽アダプターのお手入れを行うときは特に注意してください。

子供を浴槽内で遊ばせない また、浴槽アダプター付近に潜ったりしない



電源コードを破損させたり、加工したり、傷んだまま、束ねたままで使用しない



安全のために必ずお守りください

⚠ 警告

シャワー使用時や入浴時は、湯温を指先等で確認する

確認

湯温を確認しないと、やけどをすることがあります。

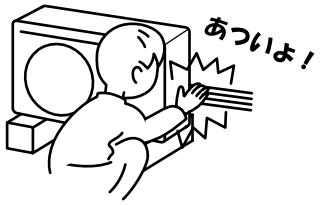
給湯温度の変更は、他の蛇口の使用状況を確認してから行う

確認

やけどをすることがあります。
浴室でシャワーを使用しているときは、給湯温度の変更をしないでください。

ヒートポンプ配管に手を触れない

やけど注意



やけどをすることがあります。

ヒートポンプユニットのフィンに触ったり、空気吸込口・吹出口に手や棒を入れない

禁止

けがをすることがあります。

近くにガス類や引火物を置かない

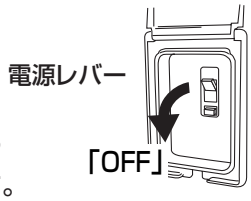
禁止

発火・火災になることがあります。

異常時は、漏電しゃ断器の電源レバーを下げて電源を「OFF」にし、お買い上げの販売店へ連絡する

連絡

異常のまま使用すると故障や感電、火災の原因になります。



前パネルを開けない

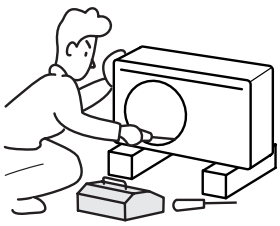
分解禁止

開けると、感電することがあります。

修理技術者以外の人は分解・修理をしない

分解禁止

発火したり、異常動作してけがをすることがあります。



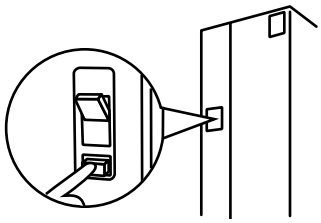
アース工事を確認する

アース工事

工事に不備があると、故障や漏電のときに感電することがあります。
アースの取付けは、据付工事店へお問合せください。

漏電しゃ断器の動作を確認する

動作確認

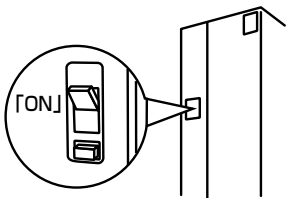


故障のまま使用すると、感電することがあります。

⚠ 注 意

凍結予防のため冬期は、漏電しゃ断器の電源レバーを「OFF」にしない

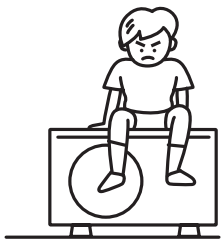
禁止



配管が凍結し、水漏れすることがあります。

機器に乗ったり、配管に力を加えたりしない

禁止



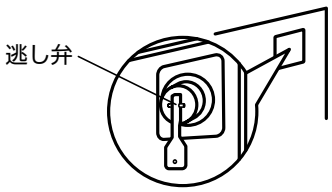
事故・やけどの原因になります。

機器を満水にしてから電源を入れる

満水確認

機器に水がない状態で電源を入れると、故障の原因になります。

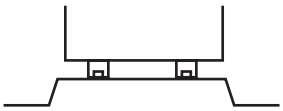
逃し弁の点検をする



点検

点検しないとタンクや配管が破損したり、逃し弁から水漏れしたりすることがあります。

タンクユニットの脚がアンカーボルトで固定されているか確認する

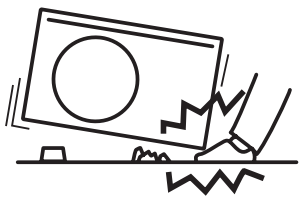


確認

固定されていないと、地震のとき、貯湯タンクユニットが倒れてけがをすることがあります。

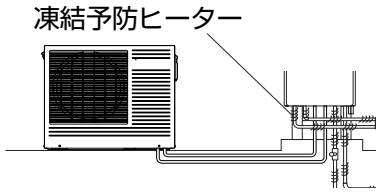
ヒートポンプユニットの据付台が傷んだ状態で使用しない

禁止



ヒートポンプユニットが落下、転倒し、けがをすることがあります。

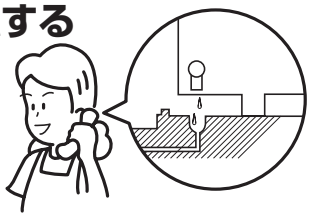
凍結予防対策の確認をする



確認

凍結するとタンクや配管が破裂し、やけどや水漏れをすることがあります。

床面が防水・排水処理されているか据付工事店へ確認する



確認

処理されていない場合、水漏れが起きたとき大きな損害につながることがあります。

貯湯タンクの熱湯を直接排水しない

禁止

やけどをすることがあります。また、排水管などを破損することがありますのでタンク内を水にしてから排水してください。

長期間使用しないときは、機器の排水をする

確認

排水しないと水質が変化することがあります。

安全のために必ずお守りください

⚠ 注 意

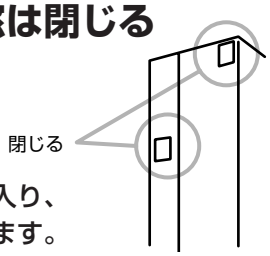
浴槽アダプターをふさがない

禁止

配管が故障し、水漏れすることがあります。

操作カバー・操作窓は閉じる

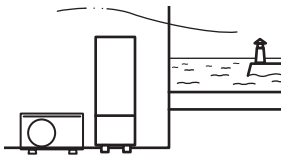
確認



開けておくと雨水やゴミが入り、
漏電や感電することがあります。

塩害地には設置しない（耐塩害地仕様品は除く）

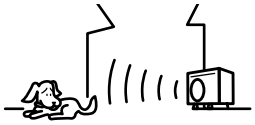
禁止



塩害地；海岸より0.5～1km以内
機器故障の原因になります。

設置は隣家に配慮した場所を選ぶ

確認



運転音や振動が伝わりにくい場所、隣家の迷惑にならない場所をお選びください。

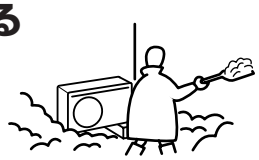
ヒートポンプユニットの周囲に通風の妨げになるものを置かない

禁止

通風が妨げられると性能低下や故障の原因になります。

積雪時には除雪をする

点検



ヒートポンプユニットやタンクユニットの周囲に積雪すると、誤作動や故障の原因になります。

硫黄・酸・アルカリを含んだ入浴剤や洗剤を使用しない

禁止

本体や配管が故障し、水漏れすることがあります。入浴剤や洗剤を使用するときは、その注意書きに従ってください。

停電復帰直後の1分間は、シャワー・給湯を使用しないでください。

禁止

熱いお湯が出る場合があります。

性能を維持させるために定期点検を行ってください。

実施

詳細は販売店にご連絡ください。

そのまま飲用しない

禁止

長期間のご使用によってタンク内に水アカがたまったり、配管材料の劣化などによって水質が変わることがあります。飲用される場合は、次の点に注意し、必ず一度ヤカンなどで沸騰させてからにしてください。

- 必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。
  （カルシウム分等が析出し、たい積して配管のツマリの原因になりますので、水質硬度は100mg/ℓ以下にしてください。）
- 熱いお湯が出てくるまでの水（配管にたまっている水）は、雑用水としてお使いください。
- 固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用せずに直ちに、据付工事店（販売店）へ点検を依頼してください。

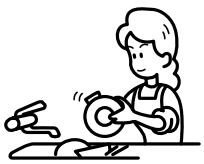
お　願　い

お湯を上手に使う

1日に使用できるお湯の量は限りがあります。

●髪を洗っているときは、シャワーを止めながら使用しましょう。

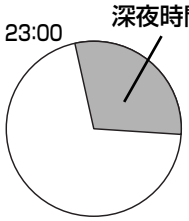
●洗いものをするときも止めながら



流しっぱなしで使用せず、こまめに止めましょう。

深夜時間帯の入浴について

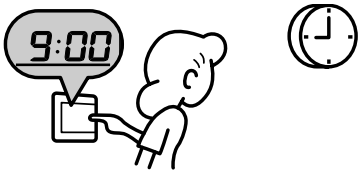
この給湯機は、おもに深夜時間帯でお湯を沸かしますので、深夜時間帯にお湯を使うと、昼間に沸きまし運転がズレ込み、電力消費量が増える場合があります。



（深夜時間帯は、電力会社により異なります。）

リモコンの時刻を確認する

リモコンの時刻が進んだり遅れたりした場合は、台所リモコンで時刻を合わせ直してください。



時刻がずれていると、タンク内を沸き上げるとき、ずれた分の時間は電気料金の高い昼間電力を使用するため、電気料金は割高になります。

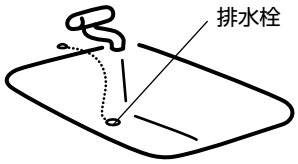
「追いだき」「差し湯」についてのお願い

追いだき運転を行うと、浴槽アダプターから、熱いお湯（約60℃）が出ます。また、差し湯を行うと、浴槽アダプターから熱いお湯（約70℃）が出ます。お子さまや高齢者の方の取り扱いについては、特に注意してください。

湯張りをするときのお願い

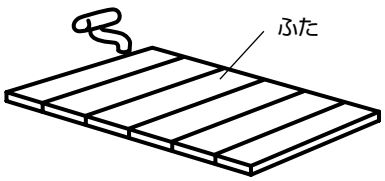
湯張りをするときは、次のことをご確認ください。

●浴槽の残水を排水して排水栓を閉じる



※浴槽や洗面台が青く変色したりすることがありますが、健康上問題はありません。

●浴槽のふたをする（保温効果を良くするため）



「ふろ予約」を行うときも同様です。

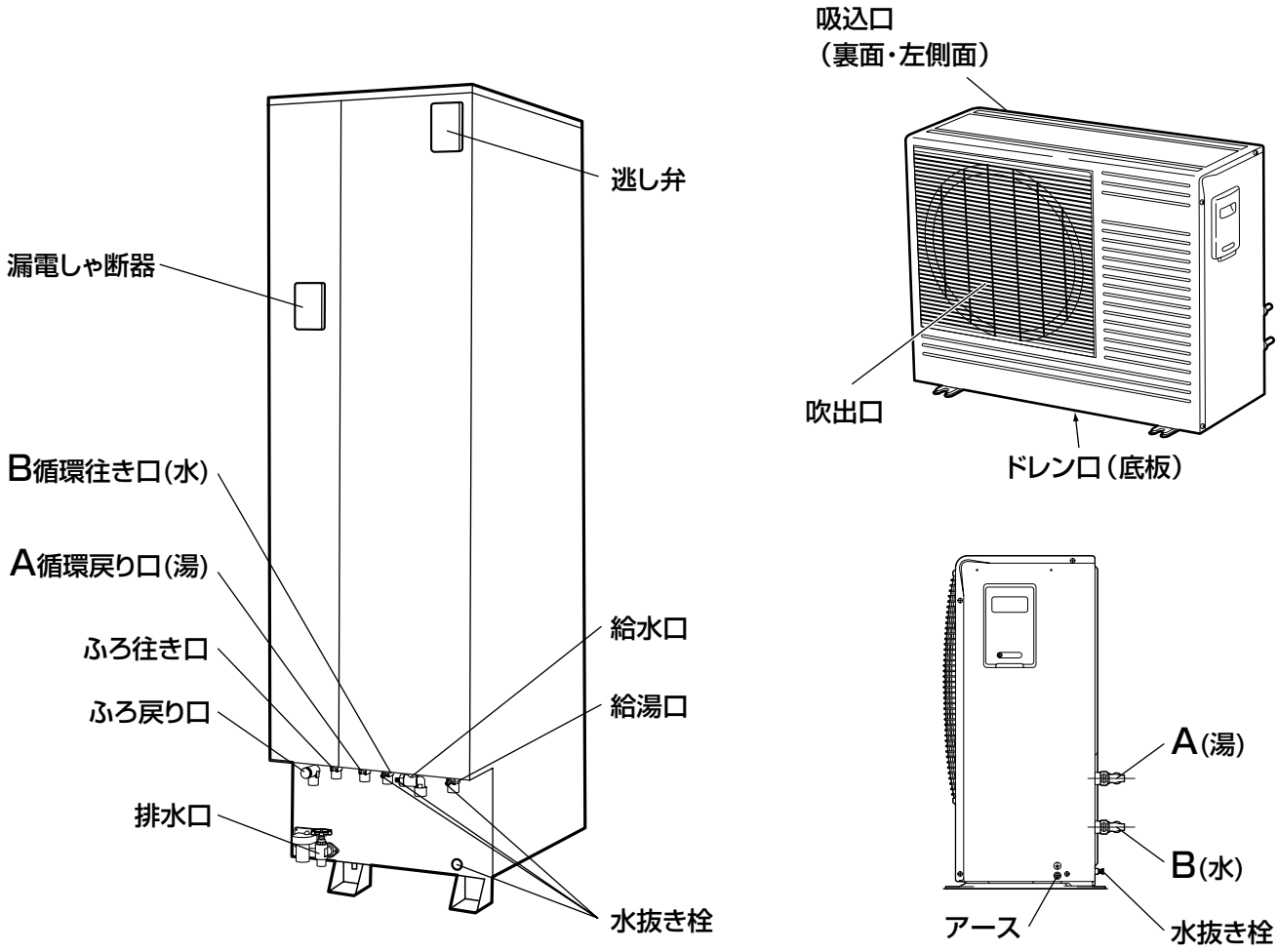
機器の設置状況などを確認する

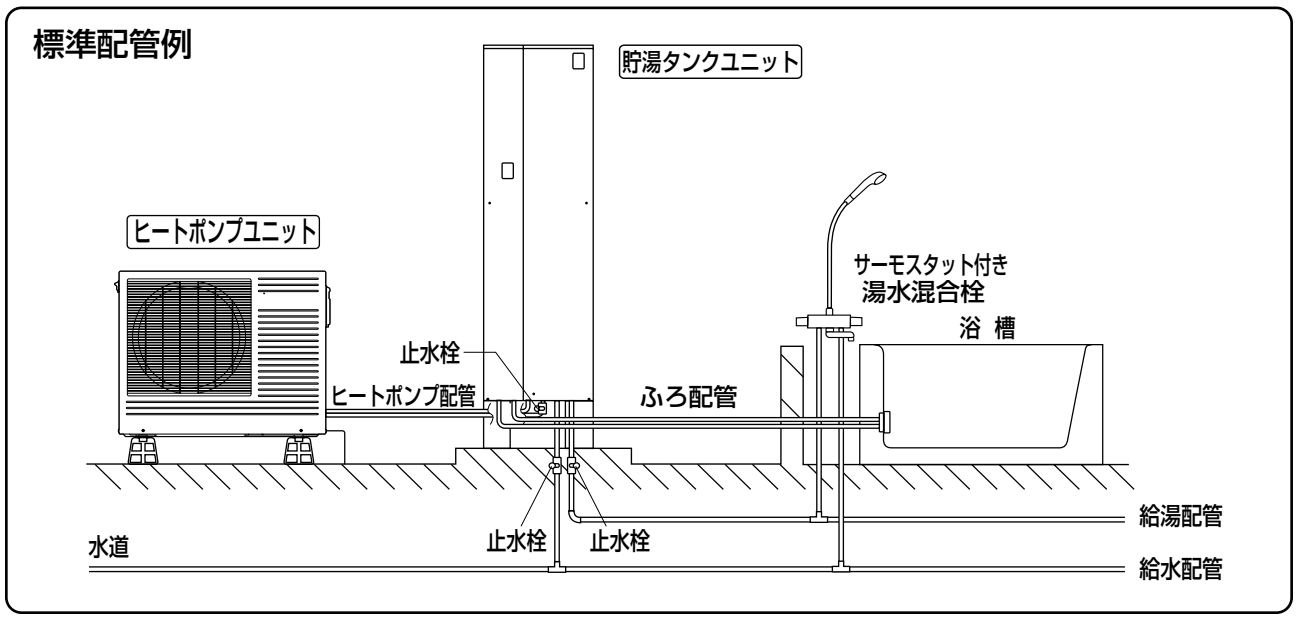
以下の場所には設置しないでください。（事故や故障の原因となり、機器の性能も保証できません。）

●最低気温が −10℃以下となる場所
●屋内
●水平でない場所、不安定な場所、排水のしにくい場所
●階段・避難口などの付近で避難の支障となる場所
●冠水する場所
●腐食性ガスが滞溜する場所
●ヒートポンプユニットは、作動中に運転音がします。運転音や振動が気になる場所へは設置しないでください。
●ヒートポンプユニットの周辺には物を置かないでください。
能力低下や思わぬトラブルの原因になります。
特に冬期の積雪には、ご注意ください。
●給水圧が低い場合（200kPa以下）は、お湯の出が悪くなったり、お湯が出なくなることがあります。

各部のなまえ

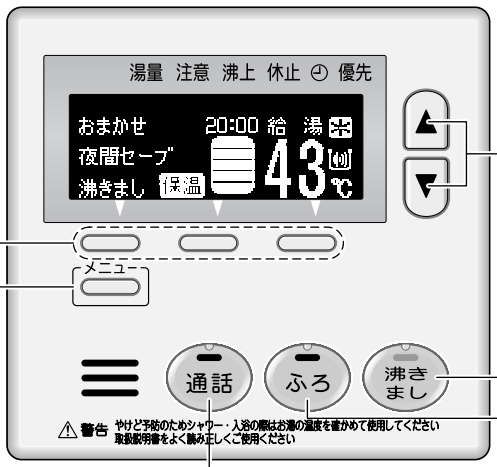
貯湯タンクユニット／ヒートポンプユニット





台所リモコン（操作部）

※図は説明のためにすべて表示した状態です。



選択スイッチ

画面に表示された項目を選択します。

（例）

「運転モード」を選択したい場合は「左」のスイッチを、「ふろ予約」を選択したい場合は「まん中」のスイッチを押します。

設定スイッチ

- 選んだ設定の内容を変更します。
- 優先ランプ点灯中にトップ画面で押すと「給湯温度」が変更できます。

（21ページ）

沸きましスイッチ（沸きましランプ）

設定した時間の分だけ、沸きましを行います。
点灯…沸きまし中

（19ページ）

ふろスイッチ（ふろランプ）

ふろ自動の「運転」「停止」を行います。
点灯…ふろ自動運転中

（23ページ）

通話スイッチ（通話ランプ）

ふろリモコン側と会話をすることができます。
点灯…通話中

（32ページ）

メニュースイッチ（メニュースイッチを押すごとに次の設定ができます。）

■メニュー1/3（1回押し）

運転モード	ふろ予約	夜間セーブ
運転モードを、「おまかせ（多め・少なめ）」「深夜のみ」「マニュアル」のいずれかに設定します。（13ページ）	設定した時刻にお湯張りを完了させます。（36ページ）	深夜時間帯に騒音を低くして運転します。（38ページ）

■メニュー2/3（2回押し）

運転休止	エコ休止	浴室モニター
運転休止期間を設定します。その期間は沸き上げを行わなくなります。数日間家を不在にするときなどに設定してください。（48ページ）	深夜時間帯まで沸き上げを停止させます。入浴後などで翌朝までお湯をあまり使用しない場合や、現在の残湯量でお湯が十分なときに設定してください。（39ページ）	浴室の音声を台所リモコンのインターフォンに流すことができます。お子様がご利用されているときの安全確認などにご使用ください。（33ページ）

■メニュー3/3（3回押し）

ナビ	リモコン設定	連絡先
「節電ナビ」の設定や、1週間前までのお湯の使用量、ヒートポンプユニットの運転時間を確認できます。（44ページ）	次の項目を変更できます。 ・時刻設定…… （12ページ） ・ふろ保温時間…… （29ページ） ・表示の節電…… （43ページ） ・音量…… （40ページ） ・音声ガイド…… （41ページ） ・操作音…… （42ページ） ・沸きまし残時間表示… （19ページ）	販売店の電話番号と機種名が表示されます。（66ページ）

各部のなまえ

台所リモコン（画面表示部）

※図は説明のためにすべて表示した状態です。
※リモコンの表示節電の設定（43ページ参照）が「する」になっている場合、10分操作を行わないと画面が消灯します。

運転モード切替表示

「おまかせ（多め・少なめ）」「深夜のみ」「マニュアル」のいずれかを表示。
（14、17、18ページ）
※1「エコ休止」を設定した場合は、「エコ休止」と表示されます。
（39ページ）

夜間セーブ表示

夜間セーブを設定したときに表示されます。
（38ページ）

沸きまし表示

沸きましスイッチによりお湯の沸き上げを行っているときに表示されます。

※2「沸きまし残時間表示」を「する」に設定している場合は、残りの沸きまし時間が表示されます。
（19ページ）

保温表示

ふろ自動運転で保温を行っているときに表示されます。
（26ページ）

時刻表示

現在時刻およびエラーコードを表示します。

凍結予防表示

ヒートポンプ配管・ふろ配管の凍結予防運転中に表示します。
（50ページ）

浴室モニター表示

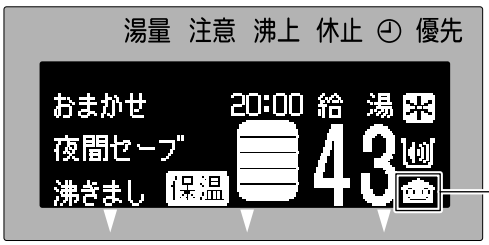
浴室モニターを行っているときに表示します。
（33ページ）

給湯温度表示

給湯温度を表示します。
（21ページ）

タンク残湯表示

タンク内の残湯量の目安です。



節電ナビ表示

節電ナビ表示を「する」に設定した場合は、右下に節電ナビマークが表示されます。
（45ページ）

ふろ予約ランプ

ふろ予約をしているときに点灯します。
（36ページ）

休止ランプ

「エコ休止」または「運転休止」を設定しているときに点灯します。
（39、48ページ）

優先ランプ

優先ランプが点灯しているリモコンで給湯温度が変更できます。
（21ページ）

沸上ランプ

沸きましスイッチによりヒートポンプユニットがお湯の沸き上げを行っているときに点灯します。

湯量注意ランプ

タンク残湯量が30Lを下回ると点灯します。

エラーナビ表示

エラーが発生した場合に表示されます。選択スイッチの「右側」を押すと、対処方法等を表示することができます。

※エラー発生時は、「時刻表示部」に「エラーコード」が表示されます。
（61ページ）

■タンク残湯表示とタンク内残湯量のめやす

品番						
EBS-46QTA2	340L以上	250～340L	160～250L	90～160L	30～90L	30L以下
EBS-37QTA2	280L以上	210～280L	140～210L	80～140L	30～80L	30L以下

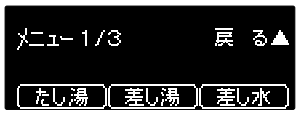
ふろリモコン（操作部）

※図は説明のために全て表示した状態です。

選択スイッチ

画面に表示された項目を選択します。

（例）



「たし湯」を選択したい場合は「左」のスイッチを、「差し湯」を選択したい場合は「まん中」のスイッチを押します。

設定スイッチ

- 優先ランプ点灯中にトップ画面で押すと「給湯温度」が変更できます。 （21ページ）
- 選んだ設定の内容を変更します。

優先スイッチ（優先ランプ）

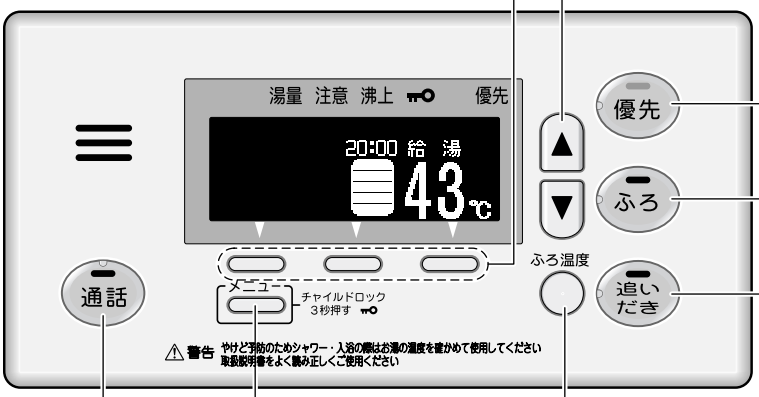
ふろリモコンに給湯温度の優先権をもたせます。
点灯…優先中 （22ページ）

ふろスイッチ（ふろランプ）

ふろ自動の「運転」「停止」を行います。
点灯…ふろ自動運転中 （23ページ）

追いだきスイッチ（追いだきランプ）

追いだきの「運転」「停止」を行います。
点灯…追いだき運転中 （30ページ）



通話スイッチ（通話ランプ）

台所リモコン側と会話をすることができます。
点灯…通話中 （32ページ）

ふろ温度スイッチ

ふろ温度の変更ができるようになります。 （24ページ）

メニュースイッチ（メニュースイッチを押すごとに次の設定ができます。）

■3秒長押しすると「チャイルドロック」がかかり、ふろリモコンの操作をロックします。 （34ページ）

■メニュー1/3（1回押し）

たし湯	差し湯	差し水
ふろ設定温度のお湯を20L注湯します。 （26ページ）	70℃のお湯を20L注湯します。 （27ページ）	水を10L注水します。 （28ページ）

■メニュー2/3（2回押し）

ふろ水位	ふろ保温時間	沸きまし
おふろの水位を調節します。 （25ページ）	ふろ自動運転を継続する時間を変更します。 （29ページ）	設定した時間の分だけ、沸きましを行います。 （20ページ）

■メニュー3/3（3回押し）

ナビ	リモコン設定	洗浄
「節電ナビ」の設定や、1週間前までのお湯の使用量、ヒートポンプユニットの運転時間を確認できます。 （44ページ）	次の項目を変更できます。 ・音量…… （40ページ） ・音声ガイド…… （41ページ） ・操作音…… （42ページ）	浴槽とタンクユニットの間の配管を洗浄します。 （35ページ）

各部のなまえ

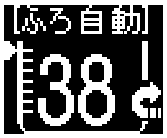
ふろリモコン（画面表示部）

※図は説明のためにすべて表示した状態です。
※リモコンは、60分操作を行わないと画面が消灯します。

ふろ関係運転表示
ふろ自動、追いだき、たし湯、差し湯、差し水、洗浄中にそれぞれの運転状態を表示します。

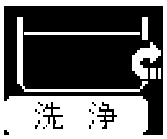
表示例

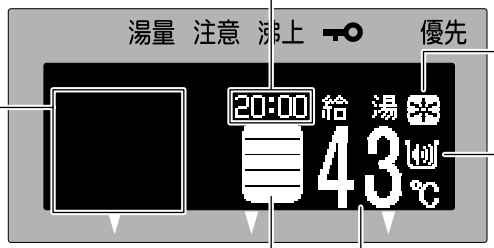
ふろ自動運転中



たし湯中

洗浄中





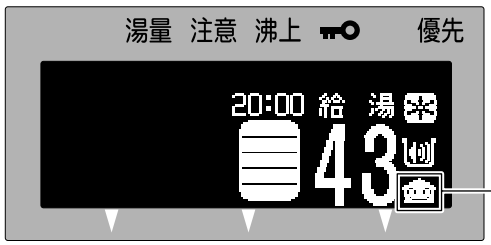
時刻表示
現在時刻およびエラーコードを表示します。

凍結予防表示
ヒートポンプ配管・ふろ配管の凍結予防運転中。
（50ページ）

浴室モニター表示
浴室モニターを行っているときに表示されます。
（33ページ）

給湯温度表示
給湯温度を表示します。
（21ページ）

タンク残湯表示
タンク内の残湯量のめやすです。

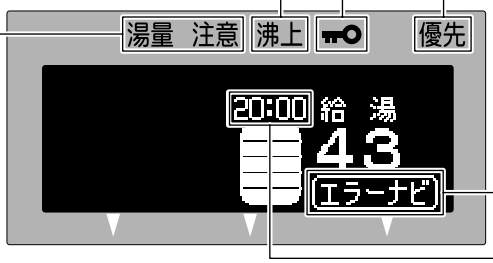


節電ナビ表示
節電ナビ表示を「する」に設定した場合は、右下に節電ナビマークが表示されます。
（45ページ）

チャイルドロックランプ
チャイルドロックがかかっているときに点灯します。
（34ページ）

沸上ランプ
ヒートポンプユニットがお湯の沸き上げを行っているときに点灯します。

湯量注意ランプ
タンク残湯量が30Lを下回ると点灯します。



優先ランプ
優先ランプが点灯しているリモコンで給湯温度が変更できます。
（21ページ）

エラーナビ表示
エラーが発生した場合に表示されます。選択スイッチの「右側」を押すと、対処方法等を表示することができます。

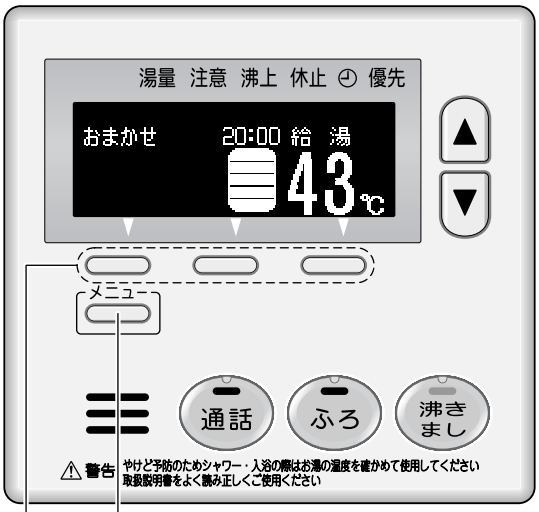
※エラー発生時は、「時刻表示部」に「エラーコード」が表示されます。
（61ページ）

■タンク残湯表示とタンク内残湯量のめやす

品番						
EBS-46QTA2	340L以上	250～340L	160～250L	90～160L	30～90L	30L以下
EBS-37QTA2	280L以上	210～280L	140～210L	80～140L	30～80L	30L以下

現在時刻の合わせかた

台所リモコンで設定します



メニュースイッチ

選択スイッチ

時刻合わせを行わない場合は「時間帯別電灯／季節別時間帯別電灯」契約にあった運転を行いません。
また、夜間セーブ運転も行いません。必ず、時刻合わせを行ってください。
時刻を間違えて設定すると電気代が割高になりますので、ご注意ください。

●時計は24時間表示になっています。
（例）17：30（午後5時30分）に合わせるとき

1 メニュー を3回押す

2 「リモコン設定」と表示された選択スイッチを押す

3 「時刻設定」と表示された選択スイッチを押す

現在時刻が変更できます。

4 「+」「−」と表示された選択スイッチで時刻を合わせる

「+」を押すと時刻が進みます
「−」を押すと時刻が戻ります
●押し続けると10分単位で連続して変わります。
●下1ケタは1回ずつ押して合わせてください。

「+」を押し続けたときの変わりかた

16:50
17:00
17:10
17:20
17:30

5 「設定」と表示された選択スイッチを押す

●上記画面が表示されれば設定完了です。

変更しました。

※台所リモコンとふろリモコンは連動しているので、設定した時刻はふろリモコンにも反映されます。

メモ

- 電源ブレーカーを切ったり、停電した場合で復帰後、時刻表示が「− −−」になっている場合は、現在時刻合わせをやりなおしてください。
- 現在時刻は、運転中でも停止中でも設定できます。

運転モード切替を行う

お湯の沸き上げ動作を決めるためのモードです。
「おまかせ」「深夜のみ」「マニュアル」のいずれかを設定してください。

通常は「おまかせ」の設定をおすすめします。

■各運転モードの内容について

運転モード	用途	沸き上げ	電力消費量
おまかせ	通常使用の場合	日々のお湯の使用量を学習して、ムダの少ない運転をします。	ムダに沸かすことなく効率的です。
深夜のみ	お湯の使用量が少ない場合	昼間時間帯は沸きましを行わないため、湯切れの心配があります。	昼間はお湯を沸かさないので、電力消費量は最も少なくなります。
マニュアル	お湯が減ってきたときに沸きましを開始する湯量を、手動で設定したい場合	マイコンによる学習は行わず、設定した湯量を下回ると沸きましを開始します。	設定した湯量（貯湯レベル）により、消費電力が異なります。

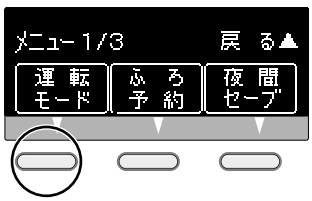
※各運転モードの詳細と貯湯レベルについては14～18ページをご参照ください。

■運転モード切替方法

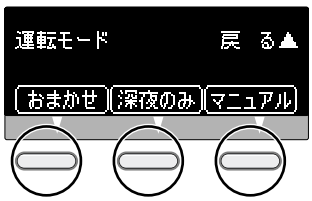
台所リモコンで設定します

1 メニュー を1回押す

2 「運転モード」と表示された選択スイッチを押す



3 「おまかせ」「深夜のみ」「マニュアル」の、いずれかの選選択スイッチを押す



●選択された運転モードになります。
詳細は14～18ページをご覧ください。

メモ

●思わぬ寒波襲来時には沸き上げ能力が低下しますので、深夜時間帯の間に沸き上がらない場合があります。また、運転音は外気温度により変化します。

各運転モードの詳細 おまかせ運転モード

「おまかせ」運転モードについて

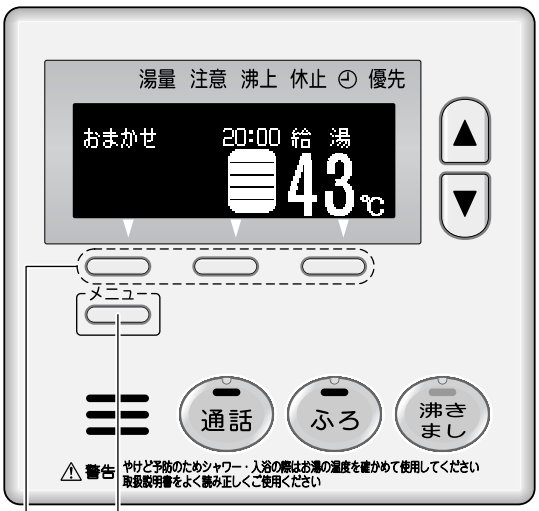
「おまかせ」モード表示

- 運転モードを「おまかせ」に設定すると、マイコンがお湯の使用量を学習して沸き上げ運転を行います。
- さらに、ご使用状況に合わせて「おまかせ」、「おまかせ 多め」、「おまかせ 少なめ」のいずれかが選択できます。

※ 通常は「おまかせ」でのご使用をお勧めしますが、お湯の量が足りないと感じる場合は「おまかせ 多め」を。逆にお湯が余ってしまう場合には「おまかせ 少なめ」を選択することで、沸き上げ量を加減することができます。

■「おまかせ」、「おまかせ 多め」、「おまかせ 少なめ」の設定

台所リモコンで設定します

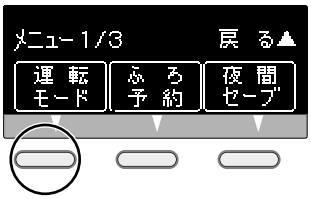


メニュースイッチ

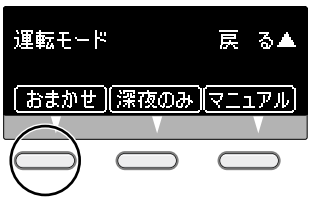
選択スイッチ

1 メニュー を1回押す

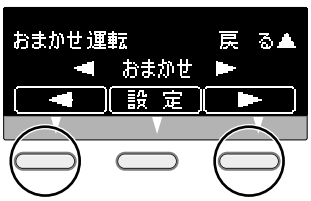
2 「運転モード」と表示された選択スイッチを押す



3 「おまかせ」と表示された選択スイッチを押す



4 「◀」と「▶」の選択スイッチで、「おまかせ」「おまかせ多め」「おまかせ少なめ」のいずれかを選択する



5 「設定」と表示された選択スイッチを押す

●上記画面が表示されれば設定完了です。

♪ *おまかせ運転（多め）に設定しました*

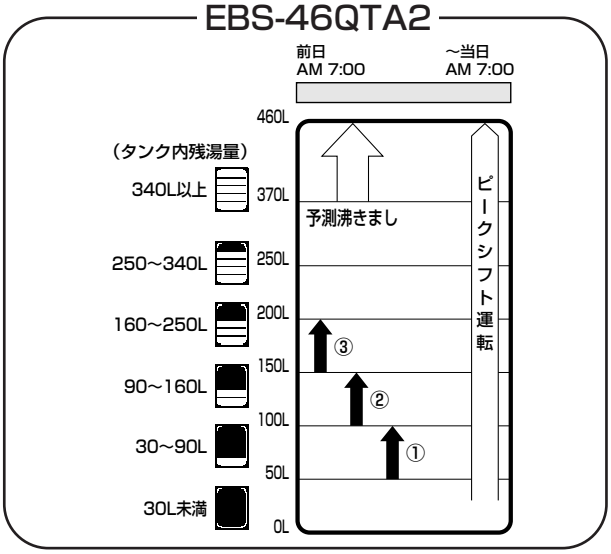
メモ

●「おまかせ 少なめ」ではより一層経済的ですが、湯切れには注意が必要です。

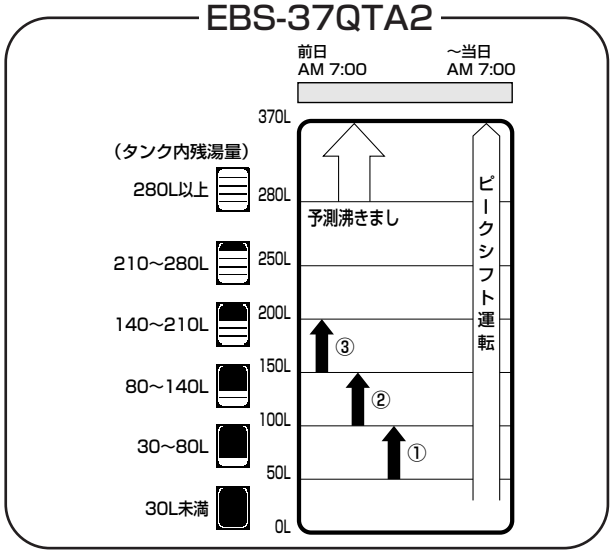
使いかた

「おまかせ」、「おまかせ 多め」、「おまかせ 少なめ」の各時間帯ごとの動き

EBS-46QTA2



EBS-37QTA2



■朝（7：00～10：00）の動き
お湯の量が図の①、②、③の基準値を下回ると、お湯の沸きましを行います。
基準値はマイコンの学習により決定されます。

■昼間（10：00～17：00）の動き
お湯の量が100Lを下回ると沸きましを行います。
ただし､「おまかせ　少なめ」と2時間帯契約の場合は「朝（7：00～10：00)」と同じ動きをします。

■晩（17：00～23：00）の動き
お湯の量が図の①、②、③の基準値を下回ると、お湯の沸きましを行います。
また、学習レベルが6～10（16ページ参照）で昼間にたくさんのお湯を使用した場合は、足りない湯量を「予測沸きまし」で補充します。
予測沸きましとは、お湯の量が各基準値（①～③）を下回らなくても、足りないと予想される湯量をあらかじめ沸きましておく機能です。
（予測沸きましについては16ページもご参照ください。）

■深夜（23：00～7：00）の動き
お湯の量が図の①、②、③の基準値を下回ると、お湯の沸きましを行います。
また、毎朝7時までにお湯を満量まで沸き上げます。（ピークシフト運転）
EBS-46QTA2……満量460Ｌ　※1　　EBS-37QTA2……満量370Ｌ　※1

契約時間帯ごとの動き

●3時間帯契約……料金パターンが「朝・晩」、「昼間」、「深夜」の3つの時間帯に分かれる契約
●2時間帯契約……料金パターンが「朝・晩・昼間」、「深夜」の2つの時間帯に分かれる契約

時間帯契約についての詳細は57ページをご参照ください。

EBS-46QTA2 EBS-37QTA2

運転モード	ピークシフト運転時（沸上量）	湯切れ沸きまし開始残湯量				
		3時間帯契約の場合				2時間帯契約の場合
		朝 7：00~10：00	昼間 10：00~17：00	晩 17：00~23：00 ※3	深夜 23：00～ピークシフト運転開始まで	朝 7：00～ピークシフト運転開始まで
おまかせ　多め	満量 ※1	150L	100L	150L		150L
おまかせ		100L				100L
おまかせ　少なめ		50L ※2				50L ※2

※1 「おまかせ　少なめ」に設定している場合は、沸上量が少なくなることがあります。（16ページ参照）
※2 3日間の外気温度の平均が5℃以下の場合は「100L」に変更されます。
※3 晩 17:00～23:00で学習レベル6～10の場合は「予測沸きまし」も行います。

メモ

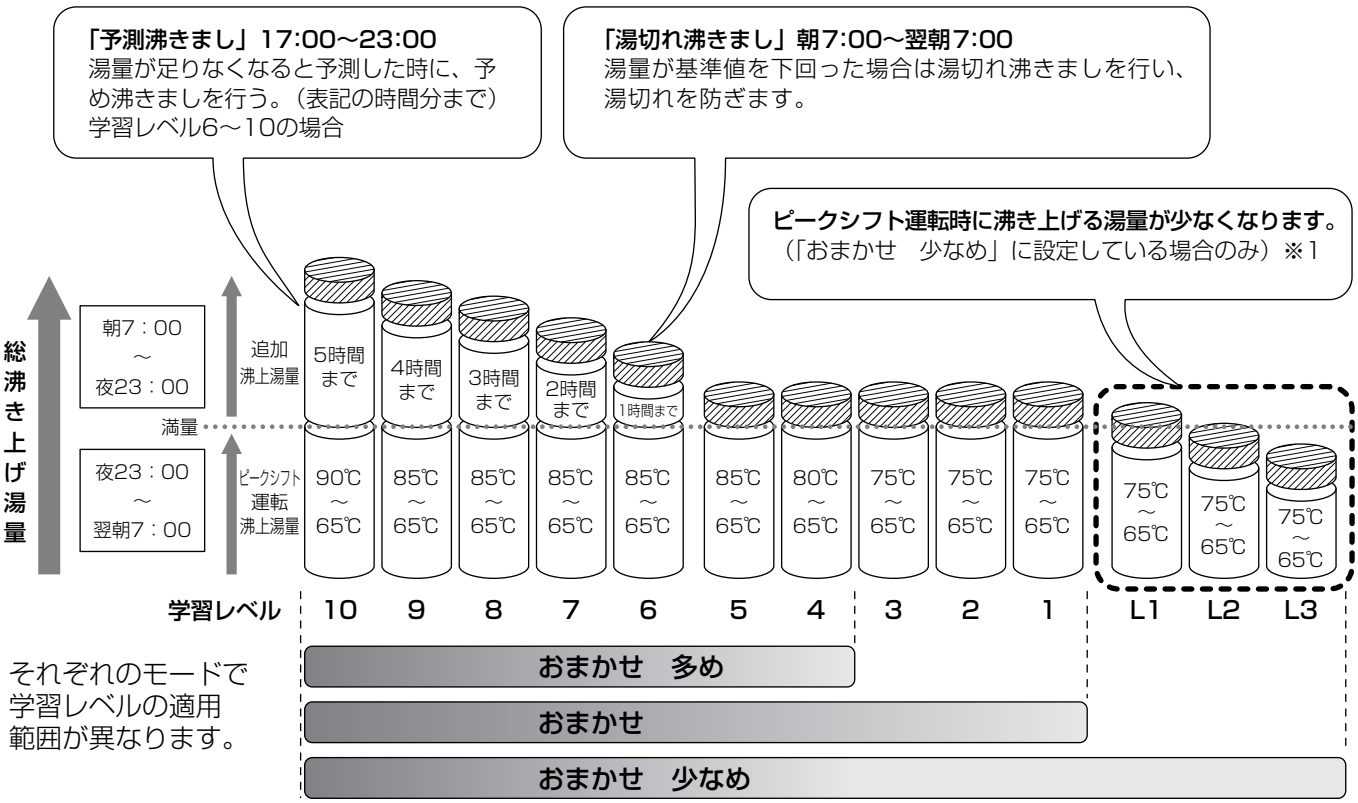
●時間帯と電気料金は電力会社によって異なります。（57ページ参照）
●ピークシフト運転中（早朝など）にお湯を使用したり、追いだきを使用した場合は使用した湯量分運転を延長します。したがって朝7時に運転が停止しない場合があります。ただし、深夜のみ運転の場合はこのような場合でも朝7時で運転が停止します。（17ページ参照）

「おまかせ」運転モードの詳細

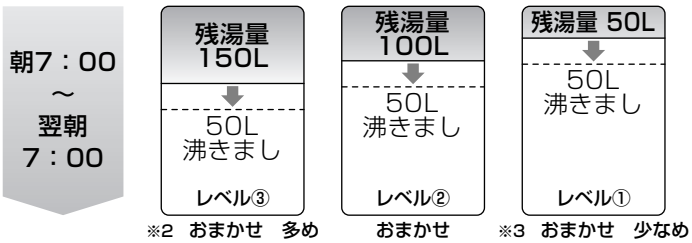
57ページの「1」の電力モード（3時間帯）の場合で説明しています。
■「おまかせ」モードに設定するとマイコンが日々使用するお湯の量を学習し、沸き上げを行うようになります。

学習レベルの詳細

- 使用湯量が前日より大きく上回った場合 ➡ 上回った湯量に応じて学習レベルが上がります。
- 3日間連続で「湯切れ沸きまし」が行われなかった場合 ➡ 学習レベルが下がります。



- **「湯切れ沸きまし」について**
  残湯量（最低貯湯量）が設定を下回ると沸きましします。沸きまし後、再度下回るとその度沸きましします。



レベル①～③については15ページ上の図を参照ください。

※1 「おまかせ　少なめ」で、学習レベルが「L1」「L2」「L3」に設定されている場合のみ、ピークシフト運転時に沸き上げる湯量が変化します。
EBS-46QTA2……「390L」「320L」「250L」
EBS-37QTA2……「320L」「260L」「200L」

※2 「おまかせ　多め」で、10:00～17:00の時間帯だけは、100Lを切れば150Lまで沸きまし。

※3 3日間の外気温度の平均が5℃以下の場合は、100Lを切れば150Lまで沸きまし。

メモ

- リモコン上には、現在設定されている学習レベルは表示されません。
- 各学習レベルごとの沸き上げ温度は、外気温度によっても変化します。

深夜のみ運転モード

「深夜のみ」運転モードについて

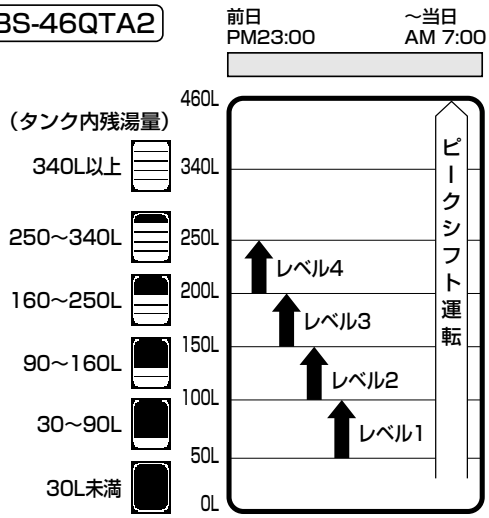
「深夜のみ」モード表示

- 運転モードを「深夜のみ」に設定すると、深夜時間帯のみ沸き上げ運転を行います。
- さらに、深夜時間帯からピークシフト運転開始までの「貯湯レベル※」を設定できます。

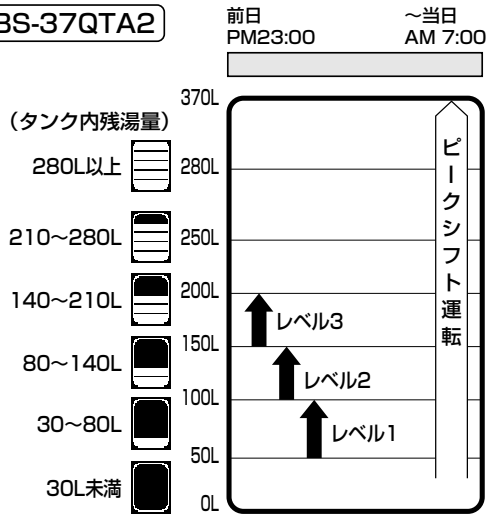
※「貯湯レベル」とは貯湯タンクに最低でも残したい湯量のことで、これを下回ると沸きましを行います。

「深夜のみ」運転モードの設定方法

EBS-46QTA2



EBS-37QTA2



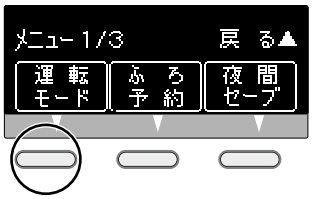
「深夜のみ」モードの動き（貯湯レベル「1」のとき）

- 昼間時間帯（7：00~23：00）は、残湯量が50Lを下回っても、お湯の沸きましは行いません。
- 深夜時間帯は残湯量が50Lを下回る度に沸きましを始め、100Lに達すると停止します。
- また、ピークシフト運転により毎朝7時までに、満量のお湯をつくります。

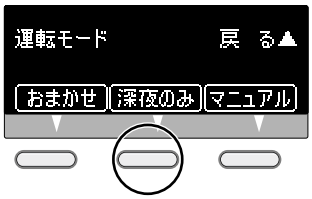
台所リモコンで設定します

1 メニュー を1回押す

2 「運転モード」と表示された選択スイッチを押す



3 「深夜のみ」と表示された選択スイッチを押す



4 「◀」と「▶」の選択スイッチで、お好みの「貯湯レベル」を選択する

貯湯レベルについて

EBS-46QTA2……貯湯レベルは「1」~「4」まで

EBS-37QTA2……貯湯レベルは「1」~「3」まで

●貯湯レベルの詳細は左図をご参照ください。

5 「設定」と表示された選択スイッチを押す

●上記画面が表示されれば設定完了です。

♫ *深夜のみ運転に設定しました。*

マニュアル運転モード

「マニュアル」運転モードについて

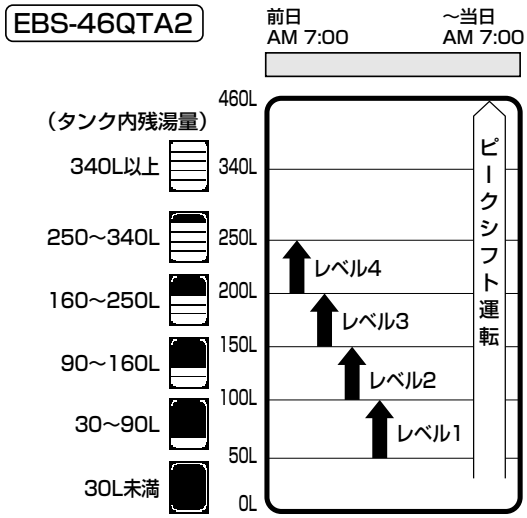
「マニュアル」モード表示

● 運転モードを「マニュアル」に設定すると、設定した「貯湯レベル※」に応じた沸き上げを行います。

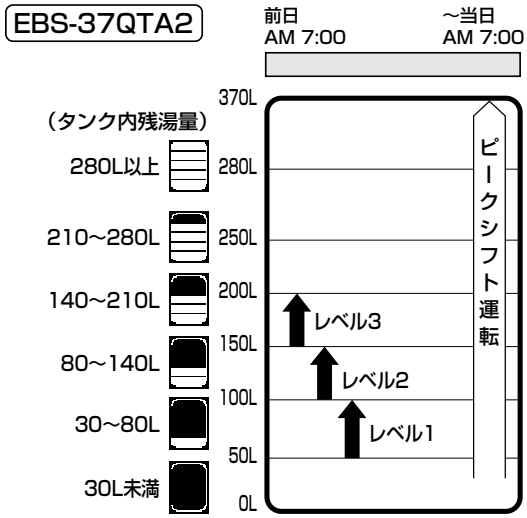
※「貯湯レベル」とは貯湯タンクに最低でも残したい湯量のことで、これを下回ると沸きましを行います。

「マニュアル」運転モードの設定方法

EBS-46QTA2



EBS-37QTA2



「マニュアル」モードの動き（貯湯レベル「1」のとき）

- 残湯量が50Lを下回る度に沸きましを始め、100Lに達すると停止します。
- また、ピークシフト運転により毎朝7時までに、満量のお湯をつくります。

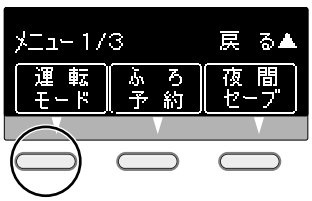
電力契約が3時間帯契約（57ページ参照）の場合

- 貯湯レベル「3」「4」は昼間（10:00（9:00）～17:00）のみ、貯湯レベル「2」にレベルが移行します。

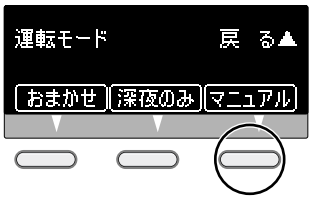
台所リモコンで設定します

1 メニュー を1回押す

2 「運転モード」と表示された選択スイッチを押す



3 「マニュアル」と表示された選択スイッチを押す



4 「◀」と「▶」の選択スイッチで、お好みの「貯湯レベル」を選択する

貯湯レベルについて

EBS-46QTA2……貯湯レベルは「1」～「4」まで

EBS-37QTA2……貯湯レベルは「1」～「3」まで

●貯湯レベルの詳細は左図をご参照ください。

5 「設定」と表示された選択スイッチを押す

●上記画面が表示されれば設定完了です。

♪ マニュアル運転に設定しました。

多量のお湯を使用したいとき

来客などにより多量のお湯が必要な場合は、沸きまし を押すとすぐにお湯の沸きましを始めます。

台所リモコンで設定する場合

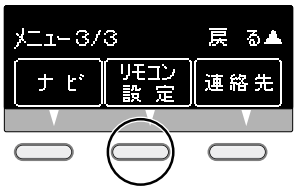
選択スイッチ　　沸きましスイッチ（沸きましランプ）

沸きまし残時間を表示する

下記の手順で、画面表示部に残りの沸きまし時間を表示することができます。

1 メニュー を3回押す

2 「リモコン設定」と表示された選択スイッチを押す



3 メニュー を2回押す

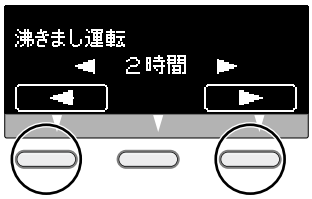
4 「沸きまし残時間」と表示された選択スイッチを押す

5 「◀」「▶」の選択スイッチで、「する」を選び、「設定」の選択スイッチを押す

残りの沸きまし時間が表示されます。

1 沸きまし を1回押す

2 「◀」と「▶」の選択スイッチで、沸きましを行う時間を選択する



※沸きまし運転の時間は「1～5時間および24時間（連続）」のいずれかを設定できます。

●そのまま5秒経過すると設定完了です。

設定しました。

●設定が完了すると「沸きましランプ」が点灯し、画面表示部に「沸きまし」と表示されます。

沸きまし表示

※各設定時間を経過すると、自動的に解除されます。

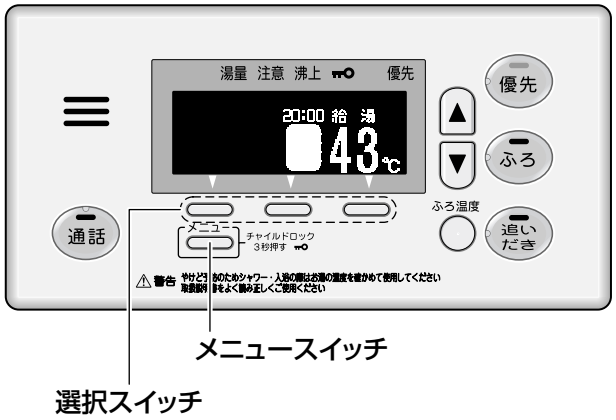
沸きましの解除

沸きまし を押すと解除されます

●「沸きましランプ」と、画面表示部の「沸きまし」表示が消えます。

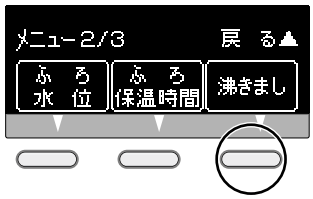
停止します。

ふろリモコンで設定する場合

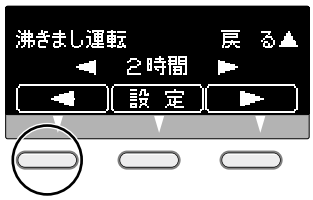


1 メニュー を2回押す

2 「沸きまし」と表示された選択スイッチを押す



3 「◀」と「▶」の選択スイッチで、沸きましを行う時間を選選択する

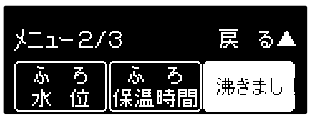


※沸きまし運転の時間は「1～5時間および24時間（連続）」のいずれかを設定できます。

4 「設定」と表示された選択スイッチを押す

♪ *設定しました。*

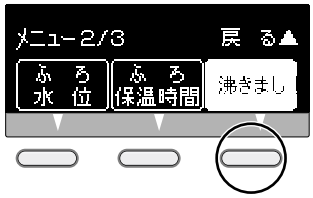
※「沸きまし」設定を確認したいときは再度 メニュー を2回押してください。 沸きまし の反転表示が出れば「沸きまし」を設定してあります。「戻る」を押して通常画面にしてください。



沸きましの解除

1 メニュー を2回押す

2 「沸きまし」と表示された選択スイッチを押す



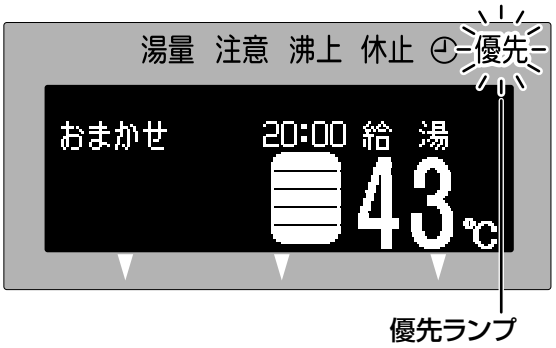
●「沸きまし」の反転表示が元に戻ります。

♪ *停止します。*

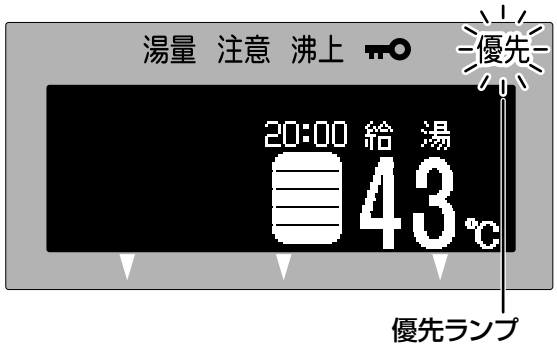
給湯温度を決める

リモコン表示部の「優先」ランプが点灯しているリモコンで給湯温度の設定ができます。

台所リモコン　表示部



ふろリモコン　表示部



台所リモコンで設定する場合

＜台所リモコン　表示部＞

＜ふろリモコン　表示部＞

1 「優先」ランプが点灯していることを確認する

●点灯していない場合は、台所リモコンでは給湯温度を変更する事ができません。ふろリモコンの「優先」スイッチをオフにしてください。

台所　*台所優先です。*

ふろ　*台所優先です。*

2 ▲▼でお好みの温度を設定する

▲ を押すごとにブザー音が鳴り、温度が高くなります。

▼ を押すごとにブザー音が鳴り、温度が低くなります。

●設定できる温度は36℃～48℃、60℃です。

台所　*(例) 給湯温度を43℃に変更しました。*

ふろ　*(例) 給湯温度を43℃に変更しました。*

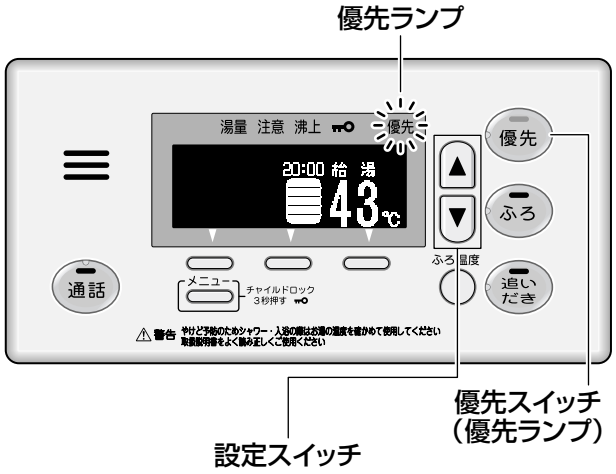
●60℃に設定するときは、48℃表示から2秒以上 ▲ を押します。

60℃に設定するとブザー音が鳴り、表示部に「高温」を表示します。

台所　*熱いお湯が出ます。*

ふろ　*熱いお湯が出ます。*

ふろリモコンで設定する場合



1 「優先」ランプが点灯していることを確認する

●点灯していない場合は 優先 を押す

台所 浴室優先です。

ふろ 浴室優先です。

2 ▲▼ でお好みの温度を設定する

▲ を押すごとにブザー音が鳴り、温度が高くなります。

▼ を押すごとにブザー音が鳴り、温度が低くなります。

●設定できる温度は36℃～48℃、60℃です。

台所 (例)給湯温度を43℃に変更しました。

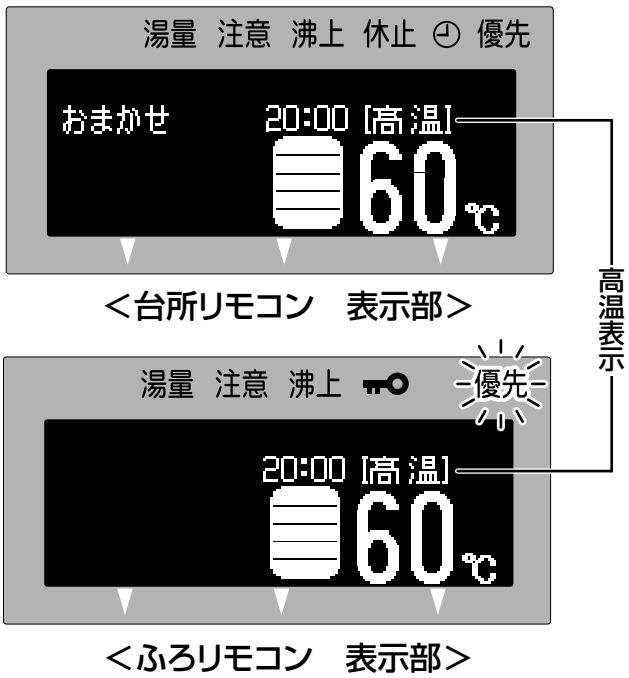
ふろ (例)給湯温度を43℃に変更しました。

●60℃に設定するときは、48℃表示から2秒以上 ▲ を押します。

60℃に設定するとブザー音が鳴り、表示部に「高温」を表示します。

台所 熱いお湯が出ます。

ふろ 熱いお湯が出ます。



＜台所リモコン　表示部＞

＜ふろリモコン　表示部＞

※音声案内に従って操作してください。
※音声案内は設定によって内容が変わります。

⚠警告

- 給湯温度を変更すると、お湯の温度（シャワーなど）が変わります。
  他の人が使っていないか、十分に注意してください。
- 給湯中に「ふろ自動」や「たし湯」、「追いだき」、「差し水」等を行うと、給湯温度が乱れる場合があります。

メモ

- サーモスタット付湯水混合栓の場合は、給湯温度の設定を、使用するお湯の温度より5℃ぐらい高く設定することをおすすめします。（水を混ぜて使用することにより、使用できる湯量が増す場合やシャワー圧力が増す場合があります。）
- ふろと給湯を同時に使用したとき、お湯の温度や湯量が変動する場合があります。

ふろ自動運転を行う

ワンタッチでおふろの湯張りを自動で行います。湯張り後も自動で保温を行います。

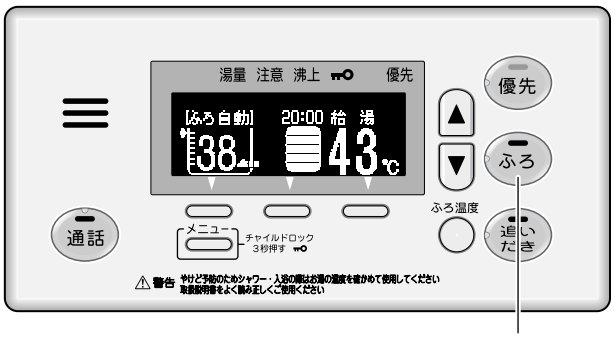
ご使用前の確認

台所リモコン・ふろリモコンの、どちらからでも「ふろ自動運転」が行えます。
「ふろ」スイッチを押す前に、必ず浴槽の排水栓をしてください。また、浴槽にふたをしてください。
浴槽に前日の残り湯がある場合は、排水をしてからご使用ください。

台所リモコン

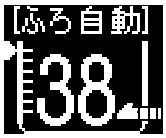
ふろスイッチ
（ふろランプ）

ふろリモコン



ふろスイッチ
（ふろランプ）

1 台所リモコンまたはふろリモコンの ふろ を押す



● 台所リモコン・ふろリモコンともに「ふろランプ」が点灯。ふろリモコンの表示部には、湯張り中を示す表示がでます。

台所 *お湯張りをします。*

ふろ *お湯張りをします。*

ふろ温度とふろ水位を設定する

■ふろ温度を設定する……24ページ参照
■ふろ水位を設定する……25ページ参照
※お好みの「ふろ温度」と「ふろ水位」が決まれば次回から上記の操作は不要になります。

湯張り完了後 ……26ページ参照

途中で停止させるとき

ふろ をもう一度押す

●台所リモコン・ふろリモコンともに「ふろランプ」が消灯します。

台所 *停止します。*

ふろ *停止します。*

ふろ自動運転 について

1. ふろ自動運転中に、台所や洗面台などの蛇口からお湯を出すと湯張り時間が長くなったり、湯張りを一時中断する場合があります。
2. リモコンの残湯表示が、や のときは、ふろ自動運転を行わないでください。
   湯切れすることがあります。
   湯切れのときは、リモコンに「Lo」表示が出て、ふろ自動運転を停止します。
   再度ふろ自動運転を行う場合は、おふろの水を抜き、タンク残湯量表示が以上になってから行ってください。

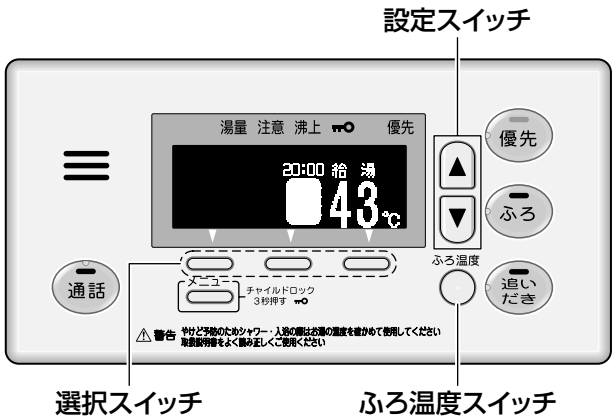
メモ

- ふろ自動運転と追いだき運転は、1時間が経過してもお好みのふろ温度にならない場合、エラー（F44）で停止します。
- ふろ自動運転時に循環口より継続的に気泡が出たり、「ポコン」、「ボコボコ」音がする場合がありますが異常ではありません。
- 前日の残り湯からふろ自動運転を行うと、湯切れの原因となります。
- 浴槽内の糸くずなどのゴミなどがふろ配管を通って貯湯タンクユニットに戻るとフィルターづまりなどの故障の原因になります。カタログに記載の純正の浴槽循環口（アダプター）の使用をお勧めします。

ふろ温度設定

おふろの温度設定を行います。（ふろ自動運転中でなくても設定できます。）

ふろリモコンで設定します



ふろ温度を設定する

1 ふろ温度 を押す

●ふろ温度表示部を見ながら ▲ ▼ を押す

ふろ温度表示部

▲ を押すごとにブザー音が鳴り、温度が高くなります。

▼ を押すごとにブザー音が鳴り、温度が低くなります。

2 「設定」と表示された選択スイッチを押す

●上記画面が表示されればセット完了です。

ふろ 🎵 *（例）おふろの温度を38℃に変更しました。*

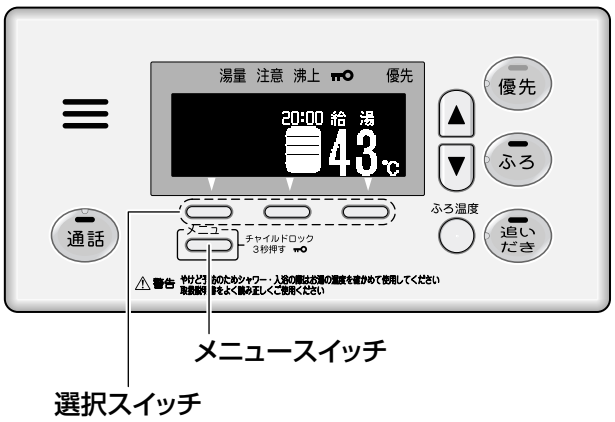
ふろ温度設定 について

- お買い上げのとき：42℃になっています。
- 設定できる範囲：36℃～45℃で1℃刻みで設定できます。

ふろ水位設定

おふろの水位設定を行います。（ふろ自動運転中でなくても設定できます。）

ふろリモコンで設定します



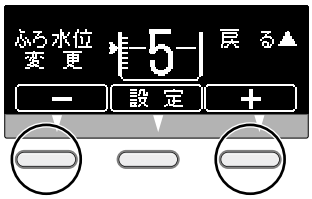
ふろ水位を設定する

1 メニュー を2回押す

2 「ふろ水位」と表示された選択スイッチを押す

ふろ 🎵 *おふろの水位が変更できます。*

3 「＋」「－」と表示された選択スイッチで水位を変更する



「＋」を押すごとにブザー音が鳴り、水位を上げます。
「－」を押すごとにブザー音が鳴り、水位を下げます。

4 「設定」と表示された選択スイッチを押す

●上記画面が表示されれば設定完了です

ふろ 🎵 *おふろの水位を変更しました。*

ふろ水位設定 について

- 浴槽アダプターの上約10～15cm※から上方に2cm刻みの7段階設定ができます。
  ※浴槽の大きさによって変わります。
  なお、現在の水位より低めの水位をご希望の場合は販売店にご相談ください。
- 2cm刻みを4cm刻みに変更することができます。この場合は販売店にご相談ください。
- 浴槽の大きさによっては水位を最高にするとあふれる場合があります。
  その場合は水位を下げてご使用ください。

メモ

- お好みの「温度」と「水位」が決まれば、次回からの操作は不要となります。
- ふろ温度と水位の設定は、湯張り完了後の自動保温中にも行うことができます。
- 「ふろ温度表示」「ふろ水位表示」は目安としてお使いください。

＜台所リモコン　表示部＞

保温表示

＜ふろリモコン　表示部＞

保温表示

湯張りが完了すると

● 湯張りが完了するとメロディでお知らせします。
また同時に『保温』表示します。

台所　♪　おふろが沸きました。

ふろ　♪　おふろが沸きました。

湯張りが完了すると、自動保温（30分毎に追いだき保温）・自動たし湯（お湯が減るとたし湯）運転を行います。

● ふろ自動運転を解除したい場合は、

ふろ を押してふろ自動運転を解除してください。

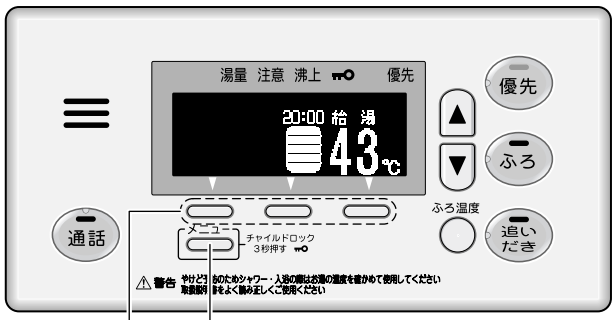
解除されると、台所リモコン・ふろリモコンともにふろランプが消灯し、表示部の『保温』も消えます。

（注意）ふろ自動運転解除後に再度 ふろ を押すと、10Lの注湯を行ってからふろ自動運転を行います。水位が上がりますのでご注意ください。

おふろのお湯を足す（たし湯）

入浴時にお湯が足りないと感じたときに。

ふろリモコンで設定します



1 メニュー を1回押す

2「たし湯」と表示された選択スイッチを押す

●ふろ設定温度の湯を20L注湯します。
●ふろリモコンの表示部に、たし湯中を示す表示がでます。

← たし湯中を示す表示

ふろ　♪　たし湯をします。

3 20Lの注湯が終ると、たし湯は完了します

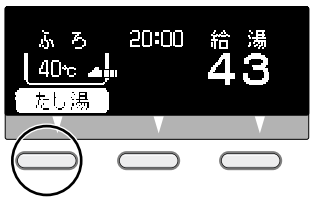
●さらにたし湯を行いたいときは、もう一度 **1** **2** の操作を行ってください。

たし湯　について

●ふろ湯張り中のたし湯はできません。（保温中は、たし湯ができます。）
●たし湯をくり返すことにより、お湯があふれることがあります。

たし湯を途中で停止させるとき

「たし湯」と表示された選択スイッチを押す



ふろ　♪　停止します。

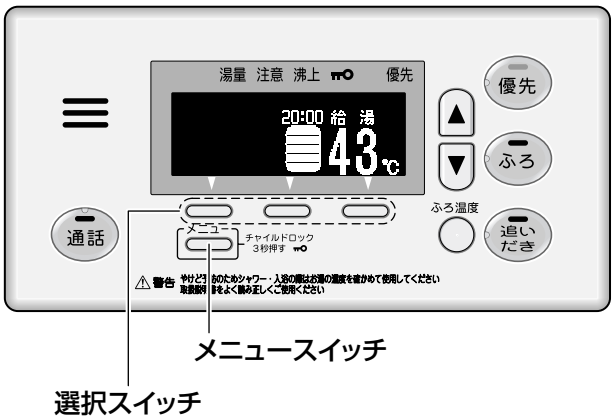
メモ

● 湯張り中に湯張りを停止する場合がありますが、おふろの湯量を確認するためで異常ではありません。（約3分～5分かかる場合があります。）

おふろに熱いお湯を足す（差し湯）

入浴時にお湯がぬるいと感じたときに。

ふろリモコンで設定します



差し湯 について

- ふろ湯張り中の差し湯はできません。（保温中は、差し湯ができます。）
- 差し湯をくり返すことにより、お湯があふれることがあります。

1 メニュー を1回押す

2 「差し湯」と表示された選択スイッチを押す

- 差し湯は、**約70℃のお湯**を20Ｌ注湯し、ふろ温度を約2～3℃上げます。

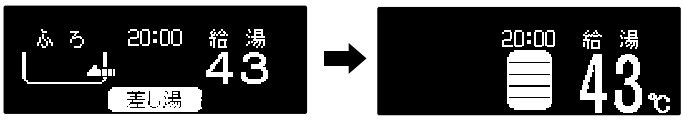
※タンク内のお湯の温度が低い場合や、残湯量が少ない場合には、差し湯の温度が低くなる場合があります。

- ふろリモコンの表示部に、差し湯中を示す表示がでます。

← 差し湯中を示す表示

ふろ 「差し湯をします。熱いお湯がでます。」

3 差し湯が完了すると、通常の画面に戻ります



- さらに差し湯を行いたいときは、もう一度 **1** **2** の操作を行ってください。
- 差し湯を連続して行った場合、2度目からは安全のため、すぐに受け付けない場合があります。差し湯を行わない場合もあります。また、浴槽アダプターより上にお湯が張られていない場合は、2度目の差し湯を行いません。

差し湯を途中で停止させるとき

「差し湯」と表示された選択スイッチを押す

ふろ 「停止します。」

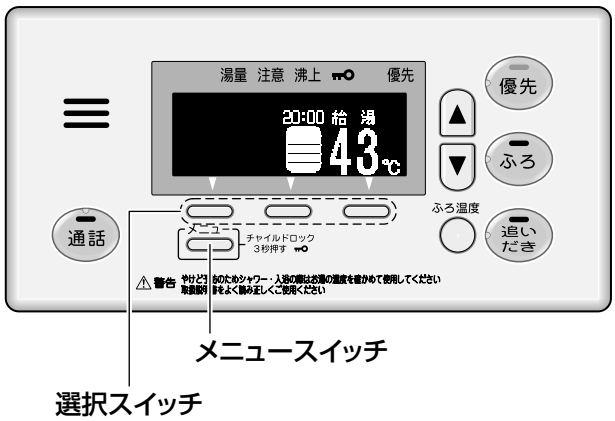
⚠警告

- 差し湯中は、浴槽アダプターから高温水（約70℃）が出ますので、浴槽アダプターから離れてください。
- 浴槽が空の状態での差し湯は、絶対に行わないでください。

おふろに水を足す（差し水）

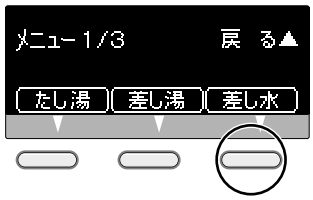
入浴時にお湯が熱いと感じたときに。

ふろリモコンで設定します



1 メニュー を1回押す

2 「差し水」と表示された選択スイッチを押す

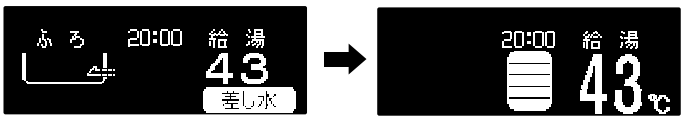


●ふろリモコンの表示部に差し水中を示す表示が表れ、水を約10L注水します。

← 差し水中を示す表示

ふろ 差し水をします。

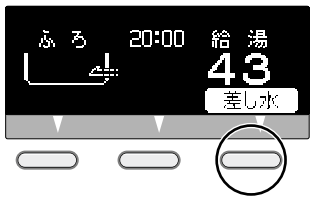
3 差し水が完了すると、通常の画面に戻ります



●さらに差し水を行いたいときは、もう一度 **1** **2** の操作を行ってください。

差し水を途中で停止させるとき

「差し水」と表示された選択スイッチを押す



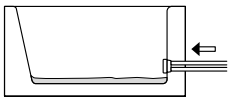
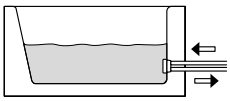
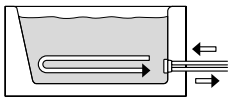
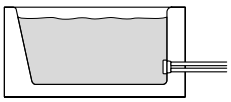
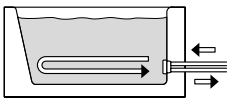
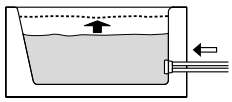
ふろ 停止します。

差し水 について

- ふろ湯張り中の差し水はできません。（保温中は、差し水ができます。）
- 差し水をくり返すことにより、お湯があふれることがあります。
- ふろ のランプが点灯しているとき（保温中）に差し水を行うと、自動保温により設定温度までふろ温度が上がってしまいます。

ふろ自動運転中の動作と表示

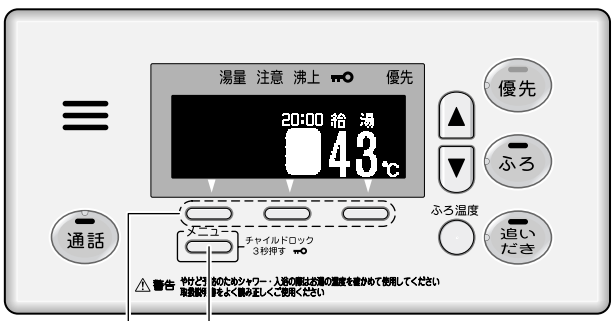
※ふろ以外の表示はわかりやすくするため消しています。

	ふろ自動運転中		
	湯張り中	ポンプ循環中	追いだき中
浴槽			
表示			
	沸上げ完了	自動保温	自動たし湯
浴槽		約30分毎に湯温をチェックし保温運転をします。 	水位が約4cm以上下がるとたし湯運転をします。 
表示			

ふろ保温時間を変更する

工場出荷時は『3時間』に設定されています。

ふろリモコンで設定します



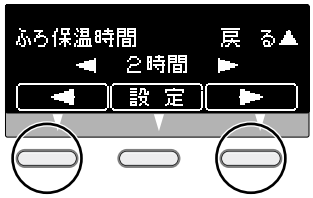
※台所リモコンでも「ふろ保温時間」の設定が可能です。
「メニュー」3回押し→「リモコン設定」→「ふろ保温時間」と選択してください。（図は12ページ参照）

1 メニュー を2回押す

2 「ふろ保温時間」と表示された選択スイッチを押す

3 「◀」と「▶」の選択スイッチで、ふろ保温時間を選択する

ふろ 保温時間が変更できます。



EBS-46QTA2
……「0～8時間」で変更可

EBS-37QTA2
……「0～3時間」で変更可

4 「設定」と表示された選択スイッチを押す

●上記画面が表示されればセット完了です。

ふろ 変更しました。

メモ

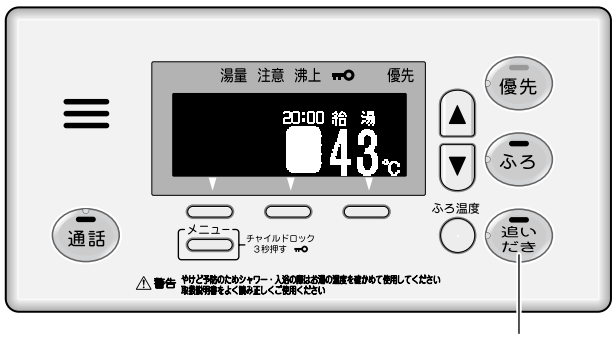
●「0時間」に設定した場合は、湯張りのみを行い、「自動保温」や「自動たし湯」等は行いません。
●設定された時間が経過すると自動で停止します。このとき、台所リモコンとふろリモコンのふろランプも消灯します。

追いだき運転を行う

入浴時にお湯がぬるいと感じたときに、ふろ温度を上げます。
（ふろ自動運転が停止中でも単独で運転できます。）

※追いだきスイッチを押すと、まず20Lの高温水（60℃）を浴槽アダプターから注湯し、引き続き追いだきを行います。

ふろリモコンで設定します

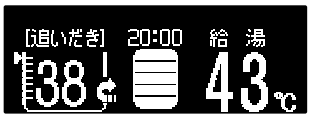


追いだきスイッチ
（追いだきランプ）

7 追いだき を押す

●追いだきランプが点灯し、画面が下記のようになります。

← 20L高温水（約60℃）注湯を示す表示



← 追いだき中を示す表示

ふろ ♪ *追いだきをします。*

追いだきを途中で停止させるとき

追いだき をもう一度押す

●追いだきランプが消灯し、追いだき中を示す表示が消えます。

ふろ ♪ *停止します。*

追いだき運転 について

1. 追いだき運転は、約1時間で解除されます。（約1時間で設定温度まで沸き上がらないと、リモコンに「F44」エラーが表示されます。）
2. 前日の残り湯で追いだき運転はしないでください。（1時間で沸き上がらないことがあります。また、貯湯タンクの残湯量が低下し湯切れになる場合があります。）
3. 追いだき運転が終了後、10分以内に再度追いだき運転を行う場合は、20L高温水（約60℃）の注湯は行いません。
4. 追いだき運転の20L高温水の注湯をはぶく場合は、追いだき を3回連続で押してください。
5. 高温（約60℃）のお湯を約20L注湯後、最高で設定温度から+2℃まで追いだきします。
6. 湯切れのときは、リモコンに「Lo」表示が出て、追いだき運転を停止します。
7. 追いだき運転をひんぱんに行うとタンク内の熱を使用するため、残湯量が減ります。
8. 沸き上げ温度が低い場合や、タンク内のお湯が少ない場合には、追いだき時間が長くなる場合があります。

⚠警告

●追いだき運転中は、浴槽アダプターから高温水（約60℃）が出ますので、浴槽アダプターから離れてください。

おふろの水の排水について

入浴後におふろの水を排水する場合は、次の手順で排水を行ってください。

おふろの水の排水手順

1 ふろランプが消灯していることを確認してください

- ふろランプが点灯している場合は、ふろ を押して消灯してください。
- ふろランプが点灯しているときに排水すると、F41エラー（61ページ参照）が表示されます。

2 おふろの水を排水してください

- 排水途中で、ふろ配管の自動洗浄を行います。

ふろ配管の凍結予防運転を行う場合

「ふろ配管の凍結予防運転」を行う場合は、次の手順で排水を行ってください。
「凍結予防運転」の詳細については、50ページをご参照ください。
※「ふろ配管の凍結予防運転」を動作させるかどうかの切替については、販売店へご相談ください。
工場出荷時はふろ配管の凍結予防運転を行わない設定になっています。

おふろの水の排水手順　（ふろ配管の凍結予防運転を行う場合）

「ふろ配管の凍結予防運転」は、ふろの水が浴槽アダプターの上まで残っていないと動作しません。そのため、ふろの水は次の手順で翌日まで排水しないでください。

1 ふろランプが消灯していることを確認してください

- ふろランプが点灯している場合は、ふろ を押して消灯してください。

2 おふろの水が浴槽アダプターの上まである場合は、排水せずに浴槽のふたをしてそのまま朝まで残しておいてください。（浴槽のふたは残り湯の放熱を少なくするためにします。）おふろの水が浴槽アダプターの上までない場合は、蛇口やシャワー等から必ずお湯を足してください。

※ おふろの水が浴槽アダプターの上まで残っていないと、ふろ配管の凍結予防運転は動作しません。

3 外気温度が上がってきたころ（昼過ぎなど）におふろの水を排水してください。（朝方も冷え込む場合があるためです。）

- 排水途中で、ふろ配管の自動洗浄を行います。

ふろ配管の自動洗浄について

ふろ自動運転が解除された後におふろの水を排水すると、ふろ配管およびふろ加熱用熱交換器の洗浄を自動的に行います。（おふろの水が浴槽アダプター付近まで低下したときに洗浄を行います。）自動洗浄中は、浴槽アダプターから間欠的にお湯がゴポゴポという音とともに出ますが、異常ではありません。

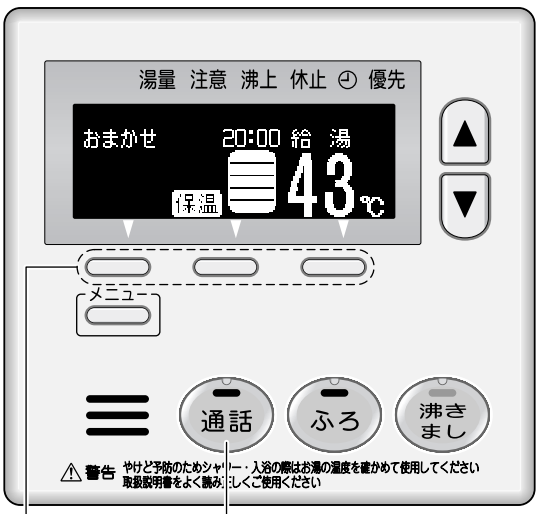
メモ

- 「ふろ配管の凍結予防運転」を行う場合でも、外気温度が低くなる地域では凍結予防ヒータは工事業者が必ず施工することになっています。

通話

用事で人を呼びたいときなど、ふろリモコンと台所リモコンの間で通話をすることができます。

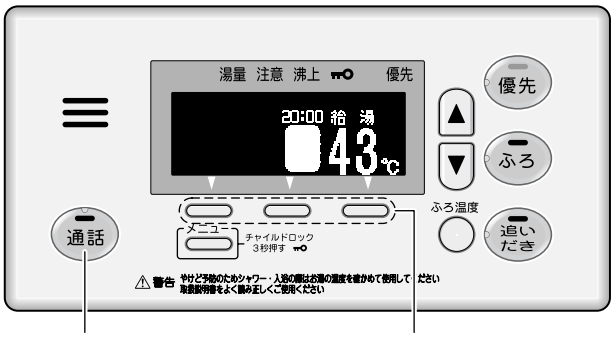
台所リモコン



通話スイッチ（通話ランプ）

選択スイッチ

ふろリモコン



通話スイッチ（通話ランプ）

選択スイッチ

通話を解除するとき

通話 をもう一度押す

（台所リモコンの場合、1秒以上押すと通話状態になり解除しませんのでご注意ください。）

台所リモコン、またはふろリモコンの

1 通話 を押す

●「通話ランプ」が点灯します。

●上記画面が表示され、メロディが流れます。
●メロディ終了後に会話が可能になります。
●30秒間通話可能です。

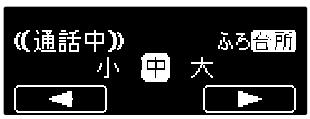
ふろリモコンから台所リモコンに話す場合

●そのままスピーカーに向かってお話ください。

台所リモコンからふろリモコンに話す場合

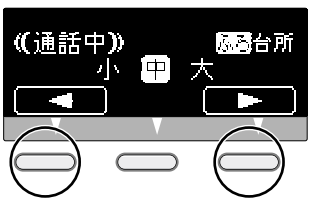
●台所リモコンの 通話 スイッチを押しながらお話ください。

※「通話」スイッチを押している間だけ、ふろリモコンに音声が伝わります。



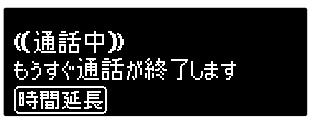
リモコン画面表示は「台所」が反転表示となります

●通話中は、「通話音量」の変更画面が表示されます。通話音量は「◄」「►」の選択スイッチで変更できます。



←「通話音量」変更画面

●通話時間の延長
終了5秒前に通話ランプが点滅して時間延長の設定画面が表示されます。時間延長を押すと、さらに30秒通話が延長できます。



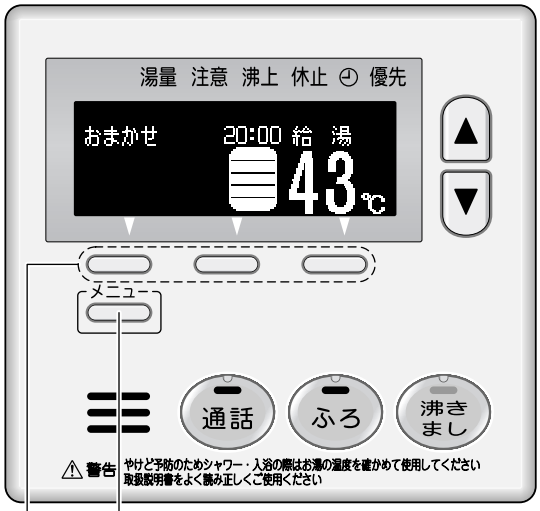
メモ

- 台所とふろの設置場所が近いと、スピーカーから「キーン」というハウリング音が発生することがあります。その場合は、「通話音量」を下げてご使用ください。
- スピーカー部の穴に水がかかると、音声が小さくなったり聞きとりにくくなることがあります。その場合は、水滴をタオル等で拭きとってください。
- 台所リモコンで 通話 を押すとメロディが2回、ふろリモコンで 通話 を押すとメロディが3回鳴ります。

浴室モニター

浴室の音声を台所リモコンのインターフォンに流すことができます。
（お子さまやお年寄りの方などの入浴のときおすすめです。）

台所リモコンで設定します



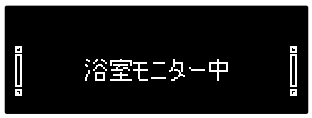
メニュースイッチ

選択スイッチ

1 メニュー を2回押す

2 「浴室モニター」と表示された選択スイッチを押す

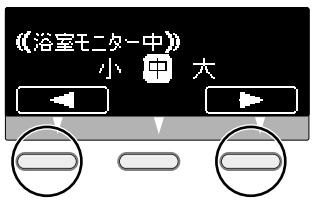
●下記画面が表示され、浴室モニターを行います。



台所 おふろのモニターをします。

ふろ おふろのモニターをします。

● 浴室モニター中は、「スピーカー音量」の変更画面が約30秒表示されます。
この時間内においてスピーカー音量を変更するには「◀」「▶」の選択スイッチで変更できます。



←「通話音量」変更画面

● 30秒経過すると通常画面に戻ります。

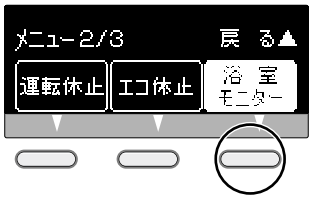
●台所リモコン、ふろリモコンの が点灯します。

●1時間経過すると、自動的に浴室モニターが解除されます。

浴室モニターを解除するとき

1 メニュー を2回押す

2 「浴室モニター」と表示された選択スイッチを押す



●左記画面が表示され、浴室モニターが解除されます。

台所 おふろのモニターを終了しました。

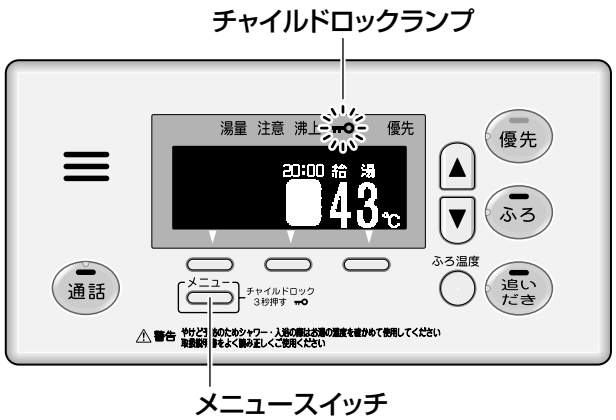
ふろ おふろのモニターを終了しました。

●台所リモコン、ふろリモコンの が消灯します。

チャイルドロック

お子さまのいたずらや誤操作を防ぐため、ふろリモコンにロックをかけることができます。

ふろリモコンで操作します



1 メニュー を3秒長押しする

- 「チャイルドロックランプ」が点灯し、ふろリモコンでの操作を受け付けなくなります。
- 「チャイルドロック」中でも台所リモコンの操作は可能です。

ふろ 設定しました。

チャイルドロックを解除するとき

メニュー を3秒長押しする

- 「チャイルドロックランプ」が消灯します。

ふろ 設定しました。

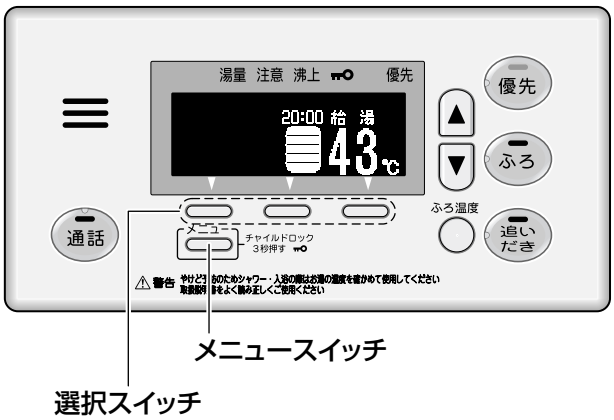
メモ

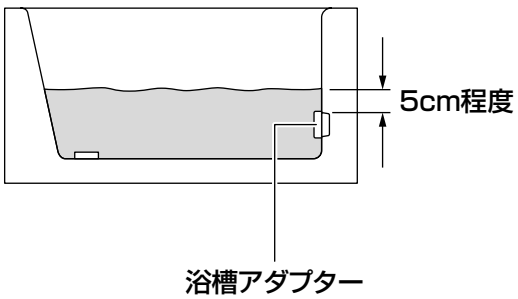
- 停電したとき、停電復帰後チャイルドロックは解除されます。
- チャイルドロック中でも差し湯、追いだき運転の停止操作は可能です。

ふろ配管の手動洗浄（2、3ヶ月に1回）

市販の「浴槽１つ穴用」の洗浄剤を入れ、洗浄することを推奨します。
洗浄剤を入れなくても洗浄を行うことができます。

ふろリモコンで操作します





2 の補足

浴槽の蛇口が使用できない、または設置されていない場合（23ページ参照）

①ふろ自動運転を入れる。
②ふろ温度を36℃に設定する。
③浴槽アダプターがかくれる程度までお湯がたまったら、ふろ自動運転を停止する。

↓

3 の手順へ

1 浴槽アダプターのフィルターを外し、ゴミ等を除去して再び取り付けてください。

2 浴槽の排水栓をしめ、浴槽アダプターが十分隠れる程度（浴槽アダプターの上5cm程度）の水を蛇口から入れます。

3 洗浄剤を使用する場合は、洗浄剤の説明書に従って入れてください。

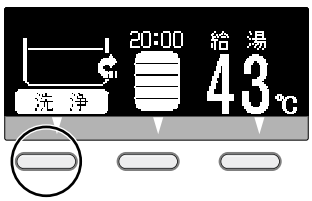
4 メニュー を3回押す

5 「洗浄」と表示された選択スイッチを押す

ふろ 🎵 *おふろの洗浄運転を開始します。*

●下記の画面が表示されれば、洗浄が始まっています。

6 洗浄開始から※約20～40分経過したら、「洗浄」の選択スイッチを押して洗浄を停止させます。



停止の際に約１分間注水を行います。

ふろ 🎵 *停止します。*

7 浴槽の排水栓をあけ、ふろの水を全て排水してください。

8 洗浄剤を使用した場合は、洗浄剤を洗い流すため、再度 **1** **2** **4** **5** **6** **7** の手順を行ってください。

注意!! ここでは洗浄剤は入れないでください。

※洗浄時間は洗浄剤の説明書をご覧ください。

メモ

●「手動洗浄」を行った場合の排水時には、「自動洗浄」は行いません。
（自動洗浄は、ふろ自動運転を停止したときのみ動作します。自動洗浄については31ページを参照してください。）

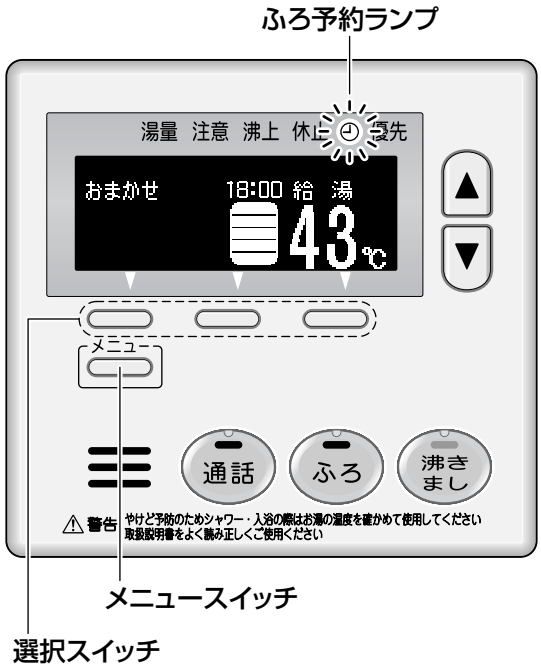
お願い！

●市販の「浴槽1つ穴用」の洗浄剤を使用する場合、詳細は「洗浄剤の説明書」に従ってください。

ふろ予約（現在時刻合わせをしないと、ふろ予約はできません）

入浴したい時刻に合わせて湯張りを自動的に完了させることができます。
ふろ予約を設定する前に、必ず浴槽の排水栓とふたをしてください。

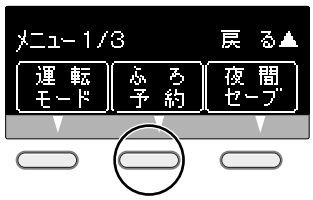
台所リモコンで設定します



沸き上がり時刻を設定する

1 メニュー を1回押す

2「ふろ予約」と表示された選択スイッチを押す



3「時刻変更」と表示された選択スイッチを押す

台所 *予約時刻が変更できます。*

4「+」「−」の選択スイッチで、沸き上がり時刻を設定する

「+」を押すと時刻が進みます
「−」を押すと時刻が戻ります

※時計は24時間表示になっています。午後8:00にセットする場合は、20:00と設定してください。

5「設定」と表示された選択スイッチを押す

ふろ予約をセットする

6「予約運転」と表示された選択スイッチを押す

●下記画面が表示されればセット完了です。

台所 *予約しました。*

●ふろ予約ランプが点灯します。

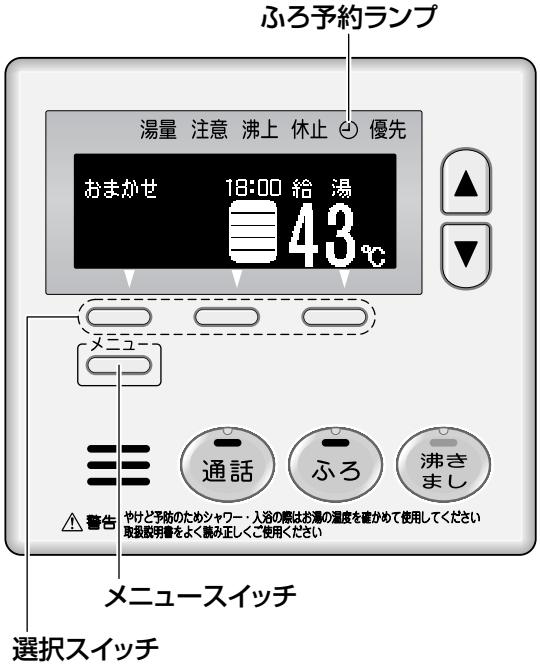
1度セットすると

沸き上がり時刻は記憶されますので、次回から同じ時刻にセットする場合は右の **1** **2** **6** の手順だけで「ふろ予約」ができます。

※ふろ予約は湯張りを行うごとにセットしてください。

※沸き上がり時刻を確認する場合は37ページの「沸き上がり時刻を確認する／ふろ予約を解除する」を参照してください。

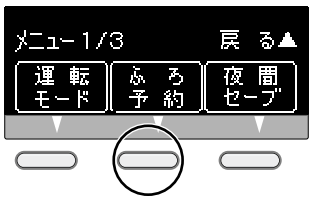
台所リモコンで設定します



沸き上がり時刻を確認する／ふろ予約を解除する

1 メニュー を1回押す

2 「ふろ予約」と表示された選択スイッチを押す



●下記画面が表示され、沸き上がり時刻が確認できます。

●沸き上がり時刻を確認し終わりましたら メニュー を押して通常画面にしてください。

3 「ふろ予約」を解除する場合は「予約運転」と表示された選択スイッチを押す

●下記画面が表示されれば解除完了です。

●「ふろ予約ランプ」が消灯します。

台所 *予約を取り消しました。*

※沸き上がり時刻を変更する場合は一度「ふろ予約」を解除してから再度、沸き上がり時刻を設定してください。

メモ

- ふろ予約は、入浴時刻（湯張り完了時刻）の1時間以上前に行ってください。予約時刻の1時間前になると、ふろ残り湯の確認動作を行います。
- 1時間以内にセットした場合は、すぐにふろ残り湯の確認動作を行います。また、予約した時刻に湯張りが完了しないことがあります。
- 残り湯がある場合は、設定された時間までに沸き上がらない場合があります。
- 「ふろ自動運転を行う」（23ページ参照）からの操作を行っていない場合は、ふろ温度・ふろ水位を設定してからふろ予約を行ってください。

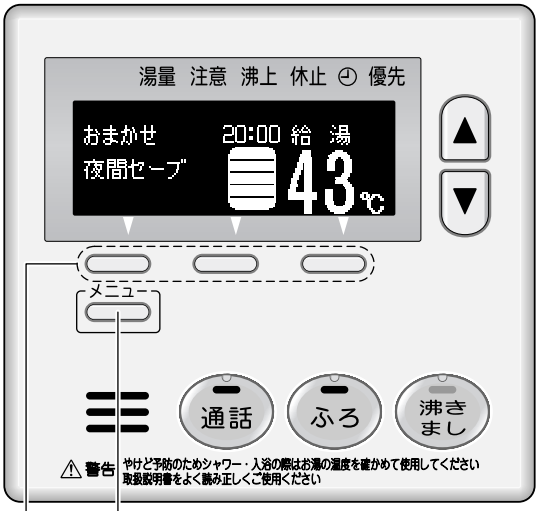
上手な使いかた

ヒートポンプユニットの運転音を低くしたり、入浴後の沸きましを停止することができます。

夜間セーブ

「夜間セーブ」を設定すると、深夜時間帯のヒートポンプユニットの能力を下げ、運転音を低くすることができます。

台所リモコンで設定します

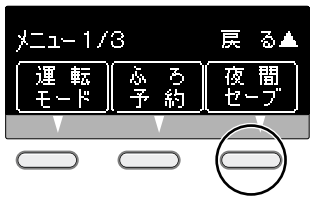


メニュースイッチ

選択スイッチ

1 メニュー を1回押す

2 「夜間セーブ」と表示された選択スイッチを押す



●通常画面に「夜間セーブ」と表示されます。

夜間セーブ表示

台所 *夜間セーブを設定しました。*

「夜間セーブ」は深夜時間帯（例 23:00～7:00）のみ有効です。
（注）深夜時間帯は電力会社によって異なります。

夜間セーブを解除するとき

1 メニュー を1回押す

2 「夜間セーブ」と表示された選択スイッチを押す

●上記画面が表示され、夜間セーブが解除されます。

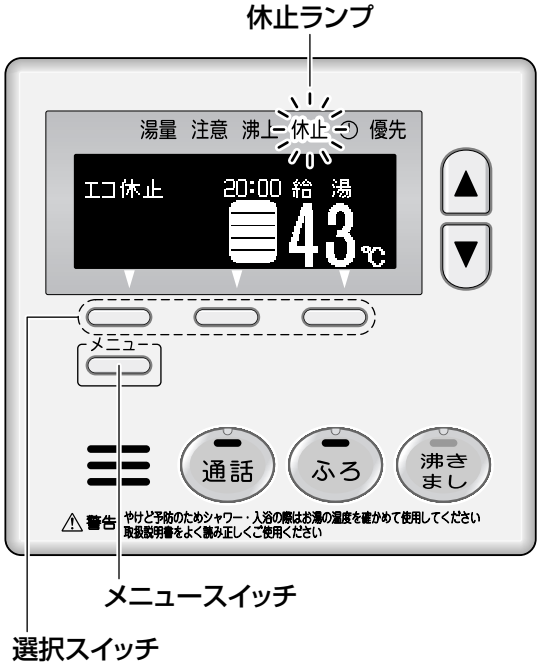
メモ

- 「夜間セーブ」は、30日経過すると自動的に解除されます。
- 思わぬ寒波襲来時には沸き上げ能力が低下しますので、深夜時間帯の間に沸き上がらない場合があります。また、運転音は外気温度により変化します。
- 夜間セーブ設定中は外気温度、水温、運転中の給湯使用により、深夜時間帯を超えて沸きまし運転する場合があります。

エコ休止

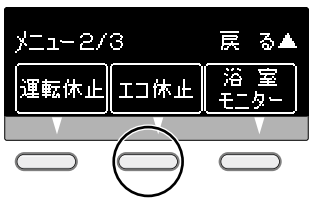
「エコ休止」を設定すると、深夜時間帯まで沸きましを行わなくなります。
入浴後などで翌朝までにお湯をあまり使用せず、現在の残湯量でお湯が十分なときに設定してください。
※ 深夜時間帯まで沸きましを行わなくなるので、電気代を節約することができます。

台所リモコンで設定します

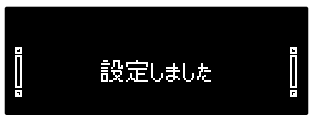


1 メニュー を2回押す

2 「エコ休止」と表示された選択スイッチを押す



●下記の画面が表示されれば、設定完了です。



台所 ♪ 休止しました。

ふろ ♪ 休止しました。

●エコ休止中は、「休止ランプ」が点灯します。

「エコ休止」を解除するとき

1 メニュー を2回押す

2 「エコ休止」と表示された選択スイッチを押す

●下記画面が表示され、エコ休止が解除されます。

メモ

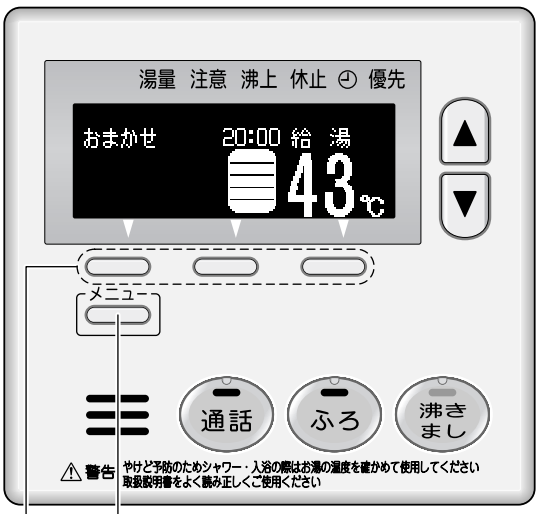
- ●「エコ休止」を設定すると、お湯の沸きましを深夜時間帯（ピークシフト運転開始）まで停止させます。
- ●現在時刻が深夜時間帯の場合には、「エコ休止」を設定することはできません。
- ●「エコ休止」中は、ふろ自動運転、追いだき運転、たし湯運転、差し湯運転、差し水運転はできません。
- ●「エコ休止」中は、タイマー時刻が現在時刻から深夜時間帯の終了時刻の範囲内に設定されている場合、タイマー運転はできません。（E01が時刻表示部に3秒間点滅表示します。）

各設定の変更（リモコンの音量、音声ガイド、操作音、表示の節電）

台所リモコンとふろリモコンで別々の設定ができます。
（変更したい方のリモコンで操作を行ってください。）

リモコン音量の設定方法

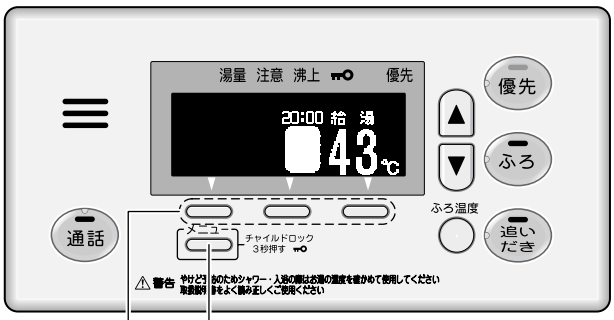
台所リモコン



メニュースイッチ

選択スイッチ

ふろリモコン



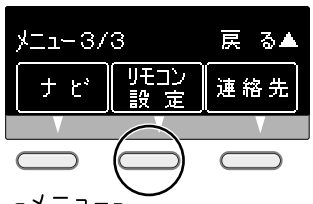
メニュースイッチ

選択スイッチ

台所リモコン、またはふろリモコンの

1 メニュー を3回押す

2 「リモコン設定」と表示された選択スイッチを押す

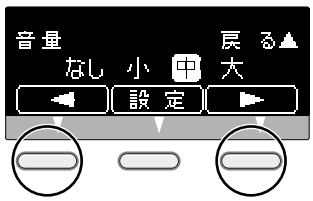


3 メニュー を1回押す（ふろリモコンではこの操作は不要です。）

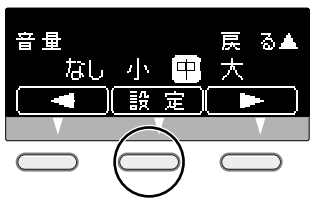
4 「音量」と表示された選択スイッチを押す

音量が変更できます。

5 「◀」「▶」の選択スイッチでお好みの設定を選ぶ



6 お好みの設定を選んだら「設定」の選択スイッチを押す



●左記画面が表示されればセット完了です。

台所 変更しました。

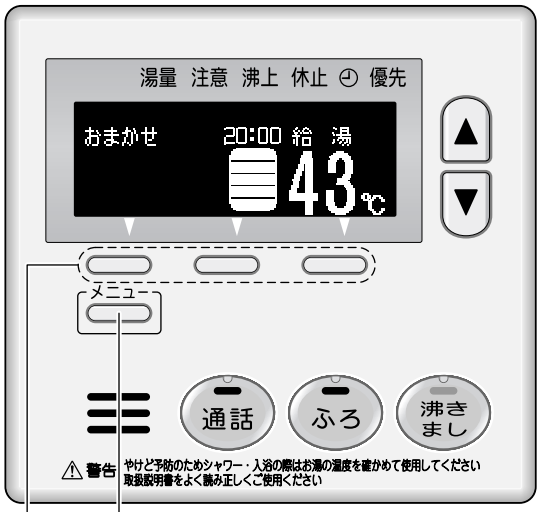
ふろ 変更しました。

メモ

- ●音量設定を「なし」に設定すると、操作音、音声ガイドがONであっても、音が出なくなります。
- ●通話音量については、32ページを参照して変更してください。

音声ガイドの設定方法

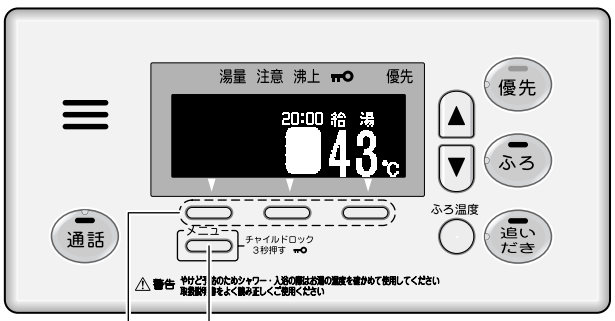
台所リモコン



メニュースイッチ

選択スイッチ

ふろリモコン



メニュースイッチ

選択スイッチ

台所リモコン、またはふろリモコンの

1 メニュー を3回押す

2 「リモコン設定」と表示された選択スイッチを押す

3 メニュー を1回押す（ふろリモコンではこの操作は不要です。）

4 「音声ガイド」と表示された選択スイッチを押す

音声案内が変更できます。

5 「◀」「▶」の選択スイッチで、音声ガイドの「あり」、「なし」を選ぶ

6 お好みの設定を選んだら「設定」の選択スイッチを押す

●左記画面が表示されれば設定完了です。

台所 変更しました。

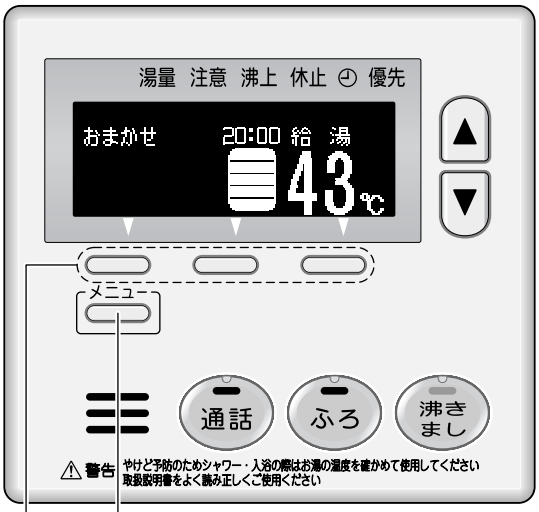
ふろ 変更しました。

メモ

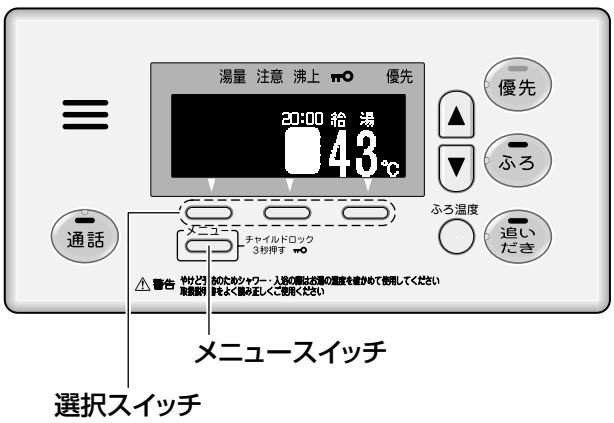
●音声ガイドを「なし」にしても、操作音は聞こえます。

操作音の設定方法

台所リモコン



ふろリモコン



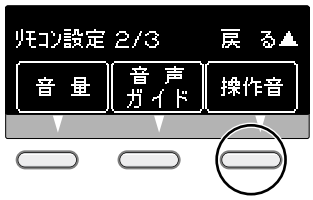
台所リモコン、またはふろリモコンの

1 メニュー を3回押す

2 「リモコン設定」と表示された選択スイッチを押す

3 メニュー を1回押す（ふろリモコンではこの操作は不要です）

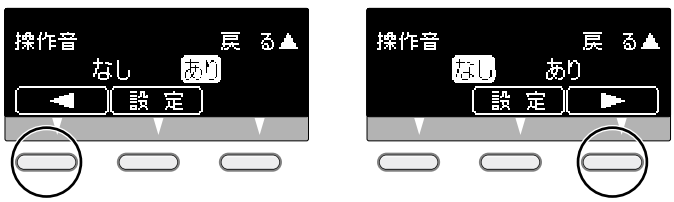
4 「操作音」と表示された選択スイッチを押す



台所 *操作音が変更できます。*

ふろ *操作音が変更できます。*

5 「◀」「▶」の選択スイッチで、操作音の「あり」、「なし」を選ぶ



6 お好みの設定を選んだら「設定」の選択スイッチを押す

●上記画面が表示されればセット完了です。

台所 *変更しました。*

ふろ *変更しました。*

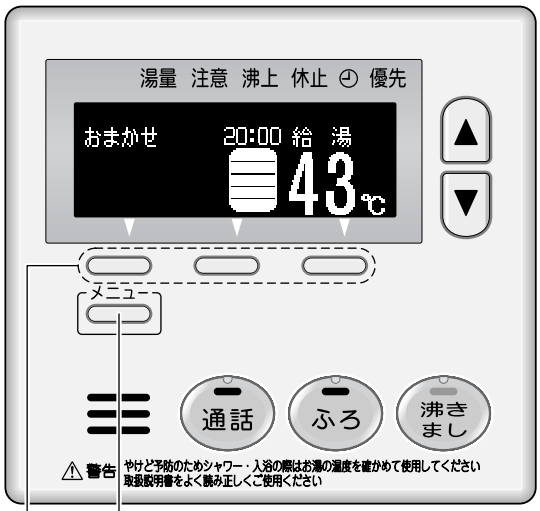
メモ

●操作音を「なし」にしても音声ガイドは聞こえます。

表示の節電　設定方法

表示の節電	する	しない
台所リモコン	10分操作なし ⇒ 画面表示を消灯	10分操作なし ⇒ 現在時刻と残湯表示のみの表示となります。※
ふろリモコン	60分操作なし ⇒ 画面表示を消灯	

台所リモコンの設定ができます



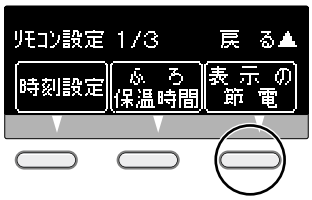
メニュースイッチ

選択スイッチ

1 メニュー を3回押す

2 「リモコン設定」と表示された選択スイッチを押す

3 「表示の節電」と表示された選択スイッチを押す



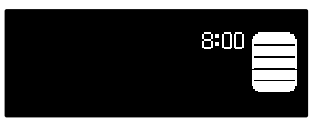
4 「◀」「▶」の選択スイッチで、節電表示を「する」か「しない」か選ぶ

5 お好みの設定を選んだら「設定」の選択スイッチを押す

●上記画面が表示されれば設定完了です。

台所 *変更しました。*

※ 現在時刻と残湯表示のみの場合



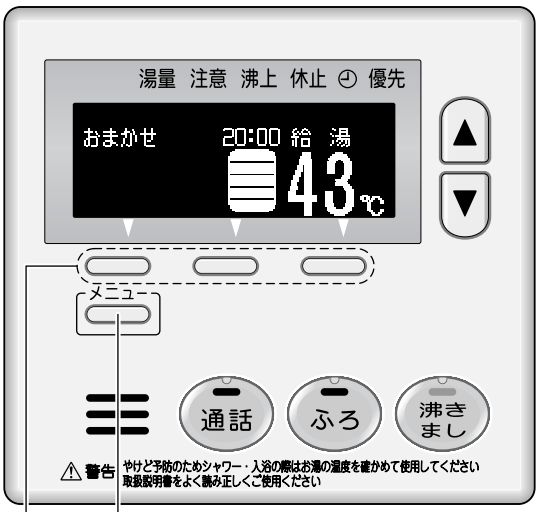
情報を見る（ナビモード）

使用湯量やヒートポンプユニットの運転時間等を確認することができます。

表示項目一覧

表示	内容
節電ナビ	「節電ナビ」の表示を「する」に設定すると、前日の昼間にヒートポンプユニットが動作した時間を、「節電ナビマーク」として画面に表示します。節電ナビマークの表情がにこやかなほど動作時間が短く、逆に表情が曇っていると動作時間が長いことを表しています。 （詳細は45ページ参照）
運転時間	1日、または過去１週間にヒートポンプユニットが運転した合計時間を表示します。 （詳細は46ページ参照）
使用湯量	1日、または過去１週間に使用したお湯の量を表示します。（詳細は47ページ参照）

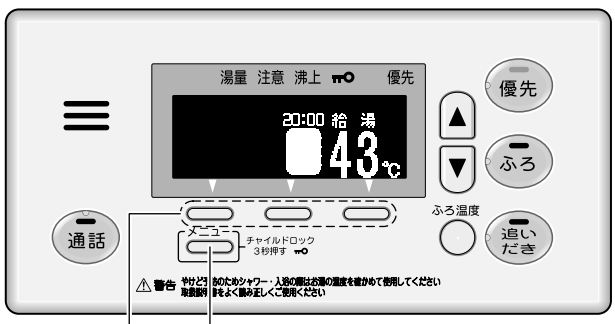
台所リモコン



メニュースイッチ

選択スイッチ

ふろリモコン



メニュースイッチ

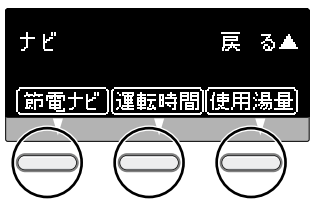
選択スイッチ

台所リモコン、またはふろリモコンの

1 メニュー を3回押す

2 「ナビ」と表示された選択スイッチを押す

3 「節電ナビ」、「運転時間」、「使用湯量」のいずれかから、表示させたい項目の選選択スイッチを押す



各項目の詳細は次のページを参照してください

■「節電ナビ」の設定……45ページ参照

■「運転時間」の表示……46ページ参照

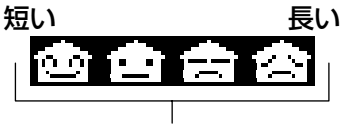
■「使用湯量」の表示……47ページ参照

節電ナビの設定

「節電ナビマーク」

節電ナビマーク表示

「節電ナビ」の表示を「する」に設定すると、右下に節電ナビマークが表示されます。



前日の昼間（深夜時間帯以外）にヒートポンプユニットが動作した時間を、顔の表情で表現しています。表情がにこやかなほど動作時間が短く、逆に表情が曇ってくると動作時間が長いことを表しています。（省エネ度が実感できます）

···· 深夜時間帯のみの運転だった場合

···· 深夜時間帯以外の運転があった場合

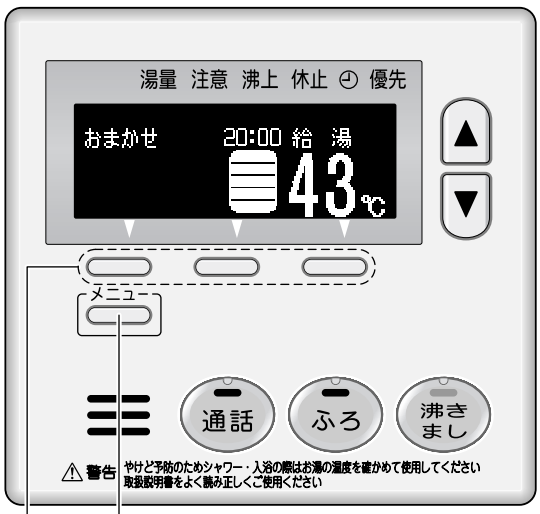
···· 深夜時間帯以外に3時間以上動作した場合

···· 深夜時間帯以外に5時間以上動作した場合

※凍結予防運転による動作は除く

「節電ナビ」の設定方法

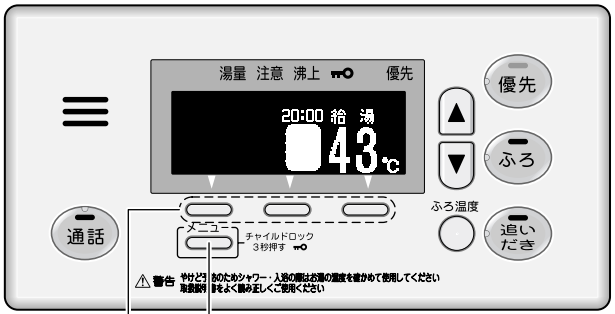
台所リモコン



メニュースイッチ

選択スイッチ

ふろリモコン



メニュースイッチ

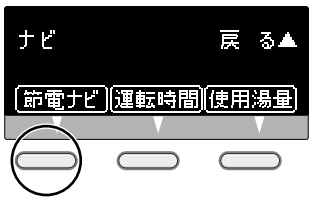
選択スイッチ

台所リモコン、またはふろリモコンの

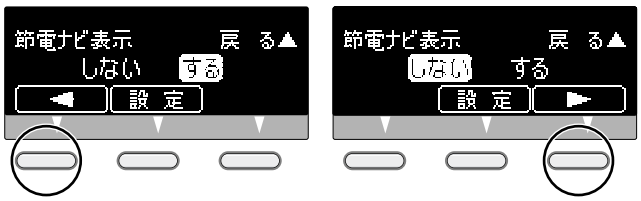
1 メニュー を3回押す

2 「ナビ」と表示された選択スイッチを押す

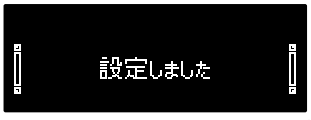
3 「節電ナビ」と表示された選択スイッチを押す



4 「◀」「▶」の選択スイッチで、節電ナビ表示の「する」「しない」を選ぶ



5 「設定」と表示された選択スイッチを押す



●上記画面が表示されれば設定完了です。

台所 *設定しました。*

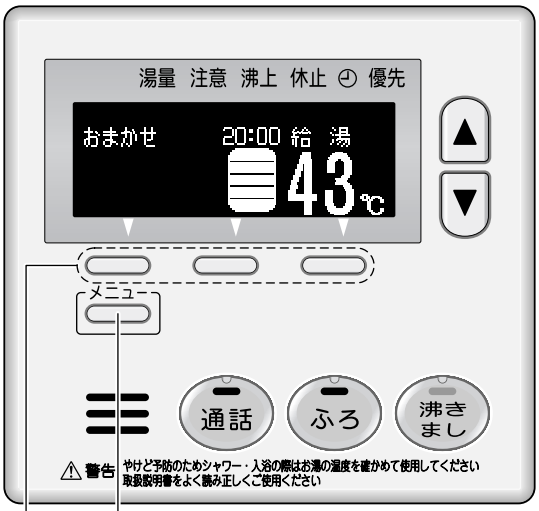
ふろ *設定しました。*

※節電ナビマークは1日動作した後に表示されます。

運転時間の表示（運転時間ナビ）

1日、または過去1週間にヒートポンプユニットが運転した合計時間を表示します。

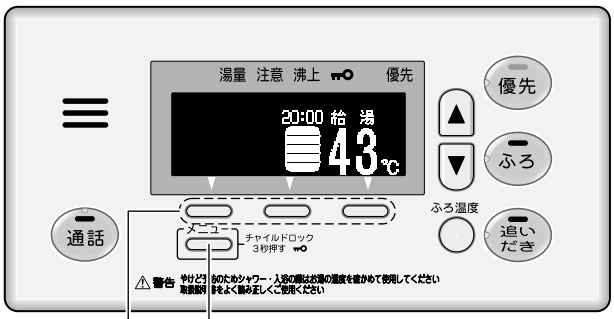
台所リモコン



メニュースイッチ

選択スイッチ

ふろリモコン



メニュースイッチ

選択スイッチ

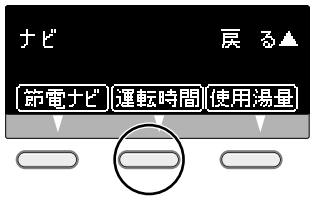
※運転時間の表示は1時間未満は切り捨てとなります。
（例）1時間40分の場合「1時間」

台所リモコン、またはふろリモコンの

1 メニュー を3回押す

2 「ナビ」と表示された選択スイッチを押す

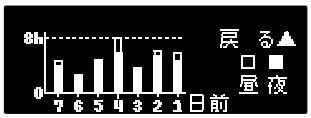
3 「運転時間」と表示された選択スイッチを押す



4 「1週間」または「1日」と表示された選択スイッチを押す

「1週間」を選択した場合

過去1週間分の運転時間が棒グラフで表示されます。



棒グラフの ■ は昼間に運転した合計時間

棒グラフの □ は深夜時間帯に運転した合計時間

を表しています。

「1日」を選択した場合

本日分と過去1週間分の運転時間が1日ごとに表示されます。

「◀」と表示された選択スイッチを押すと、7日前までの運転時間を表示することができます。

● メニュー スイッチを押すと終了します。

使用湯量の表示（使用湯量ナビ）

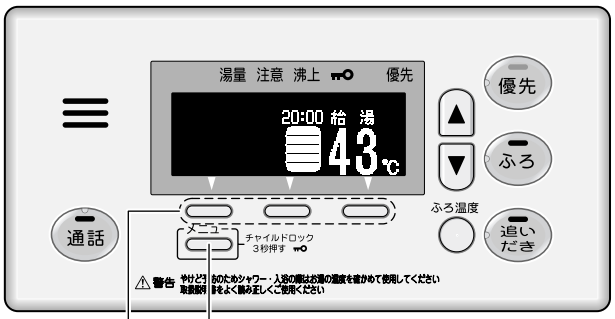
1日、または過去1週間に使用したお湯の量を表示します。

台所リモコン

メニュースイッチ

選択スイッチ

ふろリモコン



メニュースイッチ

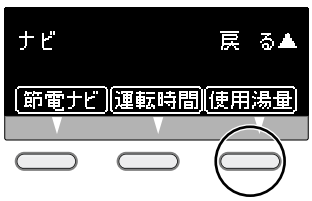
選択スイッチ

台所リモコン、またはふろリモコンの

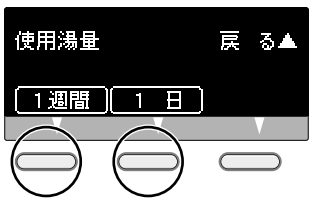
1 メニュー を3回押す

2 「ナビ」と表示された選択スイッチを押す

3 「使用湯量」と表示された選択スイッチを押す

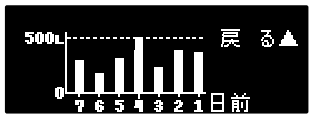


4 「1週間」または「1日」と表示された選択スイッチを押す



「1週間」を選択した場合

過去1週間分の使用湯量が棒グラフで表示されます。



「1日」を選択した場合

過去1週間分の使用湯量が、1日ごとに表示されます。

「◀」と表示された選択スイッチを押すと、7日前までの使用湯量を表示することができます。

● メニュー スイッチを押すと終了します。

メモ

● 使用湯量はタンクユニットからの出湯量です。
（湯水混合栓で水を混ぜて使用する場合は、実際のお客様の給湯使用量より少なく表示されます。）

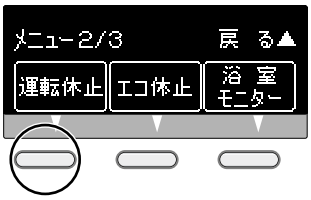
数日間お湯を使用しないとき（運転休止）

数日間家を不在にするときなど「運転休止」を選択すると、その間沸き上げを行いません。

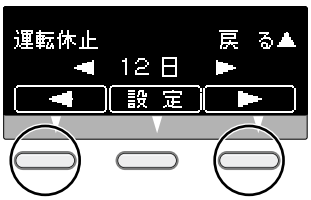
台所リモコンで設定します

1 メニュー を2回押す

2 「運転休止」と表示された選択スイッチを押す

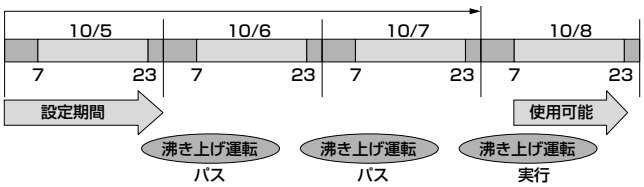


3 「◀」「▶」の選択スイッチで、運転を休止する日数を設定する

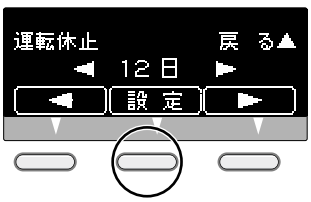


●設定日数は2～14日と連続が選択できます。運転休止日数を経過すると自動的に復帰し、運転を再開します。

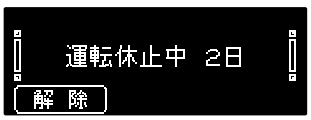
（例）10月5日に設定し10月8日の朝以降にお湯が使える状態にするには、8−5＝3日ですので、設定日数は「3」を入れます。



4 「設定」と表示された選択スイッチを押す



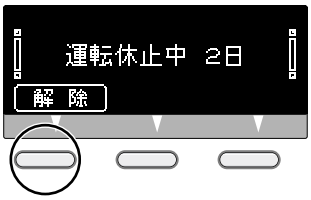
●「運転休止」中は、画面表示部が下記のように変わり、運転休止の残り日数を表示します。
また、「休止ランプ」が点灯します。



台所 *運転休止を設定しました。*

運転休止を解除する

「解除」と表示された選択スイッチを押す



運転休止が解除され、通常の画面に戻ります。

お願い！

- 漏電しゃ断器の電源レバーは「OFF」にしないでください。
- 6日間以上停止した後に再使用するときは、タンクの水を入れ替えて下さい（49ページ参照）
- 運転休止を解除すると、運転モードは運転休止前の状態に戻ります。
- 休止を設定していて解除後、タンク内にお湯が少ないとき、またはお急ぎの時は、沸き ましを押してご使用ください。

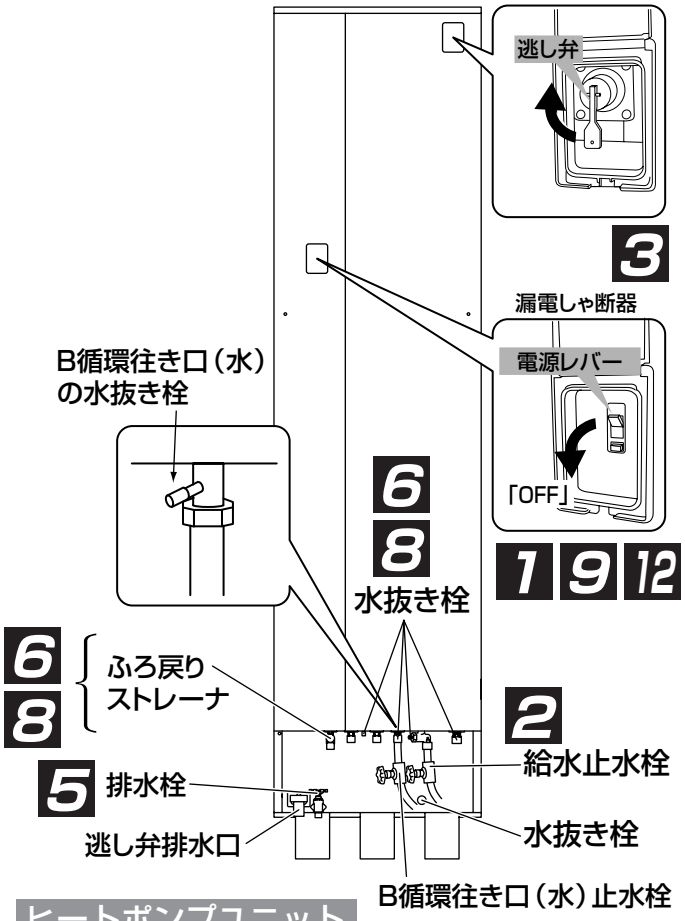
メモ

- 運転休止中でも凍結のおそれのある場合は、ヒートポンプユニットが自動的に運転し、凍結予防運転を行います。

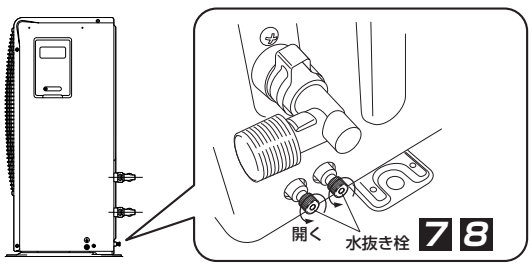
長期間お湯を使用しないとき

長期間使用しないときは、運転を止め、貯湯タンクユニットおよびヒートポンプユニットの水を抜いてください。（水質変化や機器内の劣化、および冬期は凍結による破損を防ぐためです。）

貯湯タンクユニット



ヒートポンプユニット



1 タンクユニットの漏電しゃ断器の電源レバーを「OFF」にする

2 給水止水栓を閉じる

3 逃し弁のレバーを上げる

4 蛇口の湯水混合栓をお湯側にして開く

5 排水栓を開ける
- 水が抜けるまでに37QTA2で30～40分、46QTA2で40～50分かかります。

6 タンクユニットの水抜き栓（5箇所）と、ふろ戻りストレーナをゆるめる
- 高温水が出る場合がありますので、冷えてから行ってください。

（注）全部ゆるめると水抜き栓が抜けてしまいますので気をつけてください。

7 ヒートポンプユニットの水抜き栓（2箇所）を全てゆるめる

8 水が出なくなったら水抜き栓（5＋2箇所）と、ふろ戻りストレーナを閉じる

9 タンクユニットの漏電しゃ断器レバーを「ON」にする

10 台所リモコン、またはふろリモコンの ふろ を押す

11 リモコンに「F14」と表示されるまで待ちます。（約1分程）

12 タンクユニットの漏電しゃ断器レバーを「OFF」にする
- ふろ を押すことによって、タンクユニット内部の動作弁を一時的に動かし、水抜きをしています。
- リモコンに表示された「F14」は、再運転させたときに自動で解除されます。

再運転させるとき

①排水栓を閉める
②逃し弁のレバーを上げる
③給水止水栓を開く
- タンクに水が貯まるまで約30～40分かかります。
- 逃し弁排水口から水がでてきたら貯湯タンクユニットは満水です。

④逃し弁のレバーを下げる
⑤B循環往き口(水)止水栓を閉じる
⑥B循環往き口(水)の水抜き栓を開き、水と空気を1～2分出したら閉じる
⑦B循環往き口(水)止水栓を開く
⑧ヒートポンプユニットの水抜き栓（2箇所）を全てゆるめ､水と空気を1～2分出したら閉じる
⑨B循環往き口（水）の止水栓を閉じる
⑩ヒートポンプユニットの水抜き栓（右側のみ）をゆるめ、水と空気を1～2分出したら閉める
⑪B循環往き口（水）の止水栓を開ける
⑫各接続部の水漏れがないか確認する
⑬蛇口の湯水混合栓をお湯側にして開き、水が出ることを確認する
⑭貯湯タンクユニットの漏電しゃ断器の電源レバーを「ON」にする
⑮台所リモコンで現在時刻を合わせる（12ページ）
⑯台所リモコンで運転モードを設定する（13ページ）

- 再運転後は、まず 沸きまし を押し、沸きまし運転をすることを、おすすめします。
- 沸き上がり後、湯水混合栓を、お湯側にして開くとお湯が出ます。

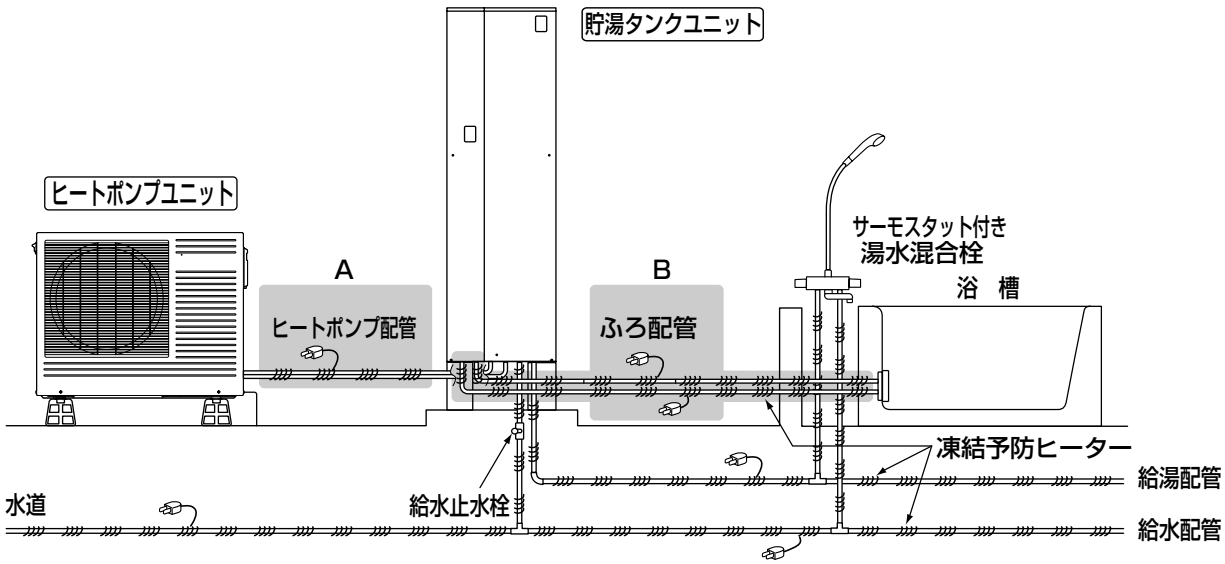
凍結予防

凍結予防

冬期は暖かい地域でも、ヒートポンプ配管・給水・給湯配管・排水管、器具本体の水が凍結し、破損事故が起こることがありますので下記方法で凍結予防をしてください。
（凍結による故障は保証期間内でも有償修理となります。）

凍結予防ヒーター （現地手配）

- 凍結予防ヒーターを使用するときは、すべての電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- 凍結予防ヒーターを使用しないときは、すべての電源プラグをコンセントから抜いてください。



ヒートポンプ配管の凍結予防運転 （A部）

本機は、外気温が下がると「凍結予防運転」をして凍結を予防します。
（ヒートポンプ配管を凍結予防します。）

- 台所リモコン、ふろリモコンに「凍結予防表示」が表示されていることを確認してください。
  （9、11ページ参照）

ふろ配管の凍結予防運転 （B部）

「浴槽」と「貯湯タンクユニット」を繋げている配管に、浴槽の残り湯を循環させて凍結を予防します。

- 本体据付時に工事業者の方とご相談いただき、ふろ配管の凍結予防運転をさせるかどうかを選択していただきます。
- ふろ配管の凍結予防運転を行う場合の、おふろの水の排水手順は、31ページをご参照ください。

定期点検（有料）

3～4年に1回の定期点検のおすすめ

● 本機は、年月の経過により構成部品が劣化します。ご使用条件や運転状況により性能に影響をおよぼし、機能をじゅうぶんに発揮できなくなることがありますので、3～4年に1回の定期点検をおすすめします。
（点検費用など詳しいことは販売店にご相談ください。）

■ 定期点検の主な内容

項目	内　　容
据付状態	設置面、配管状態、配管その他の保温処置、電気配線などの確認、ヒートポンプユニットの運転状態、システムの水漏れ確認
機能部品	電気部品（配線、導通、動作の確認）、弁類（減圧弁、逃し弁）、貯湯循環ポンプ、ヒートポンプユニットなどの点検および消耗部品の点検、逆流防止装置、電動混合弁
清掃	タンク内の清掃（沈殿物の除去など）、貯湯タンクユニットのストレーナーの掃除

■ 消耗・劣化しやすい部品

・減圧弁
・逃し弁
・貯湯循環ポンプ
・逆流防止装置（逆止弁等）
・電動混合弁
・Oリング
・ゴムホース
・追いだき熱交換器

お願い！

● 上記部品の交換時は、当社純正部品をご指定ください。

お手入れのしかた

安全に使っていただくために、点検・お手入れは定期的に行ってください。

日常の点検・お手入れ

リモコンのお手入れ

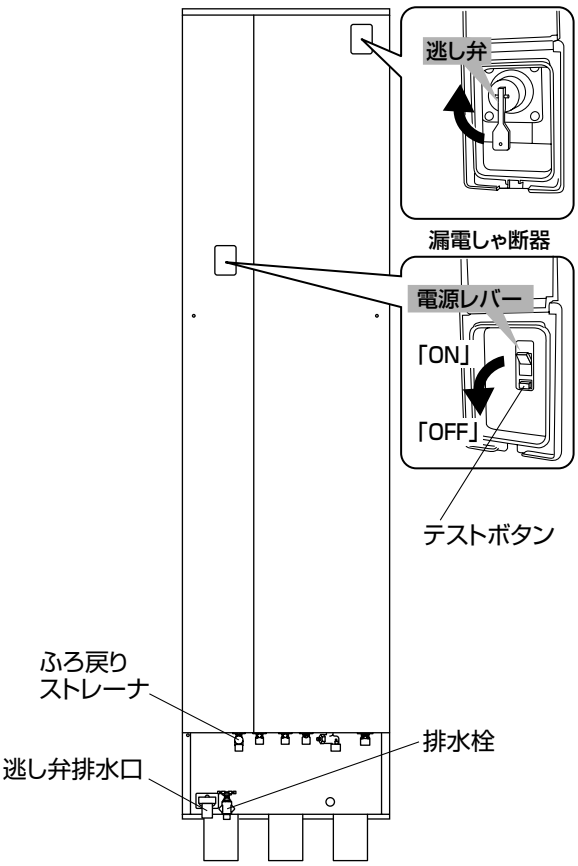
● 表面が汚れたときは、乾いた布や固くしぼった布で軽く拭いてください。
（リモコン内部に水が入ると故障の原因になります。また、蛍光表示管の表示部を強く押しますと故障の原因となります。）

1ヵ月に1回程度

漏電しゃ断器の動作点検

漏電しゃ断器の点検は、電源供給中に行ってください。

1. テストボタンを押してください
   漏電しゃ断器の電源レバーが「OFF」になれば正常です。
   「OFF」にならない場合は、据付工事店に連絡してください。
   電源レバーが勢いよく下がりますので注意してください。
2. 必ず3秒以上OFFしてから電源レバーを「ON」に戻してください



1ヵ月に1～2回

1. 逃し弁の点検
   動作点検と水漏れ点検を行ってください。

   動作点検
   逃し弁のレバーを上げ、水（湯）が逃し弁排水口から出ることを確認してください。

   水漏れ点検
   逃し弁のレバーを元にもどし、水（湯）が逃し弁排水口から出なくなることを確認してください。
   （必ずヒートポンプ運転が停止中に行ってください。）
   ※点検後は、必ず逃し弁のレバーが下がっていることを確認し、点検窓を閉めてください。

2. ストレーナの点検
   ・ふろ戻りストレーナを点検してください。
   ①漏電しゃ断器の電源レバーを「OFF」にします。
   ②ふろ戻りストレーナを取り出し、ゴミ詰まりを確認します。
   ※熱いお湯が出たり、ストレーナ部が熱くなっていたりしますので、やけどに注意してください。
   ③ふろ戻りストレーナを元に戻します。
   ④漏電しゃ断器の電源レバーを「ON」にします。

ふろ戻りストレーナ部

1年に1回

● 機器内の水をすべて排水する（49ページ）
● 排水完了後、水の濁りがなくなるまで、給水・排水を繰り返す
● 運転する（49ページの 再運転させるとき にしたがってください。）

お手入れのしかた

下記の点検は販売店の方が行ってください。

6ヵ月に1回以上

タンクのお手入れ

1. タンクユニットの排水栓を約1～2分間開けてください
   タンクの下部にたまった汚れを排水します。
   排水ホッパーから排水があふれないように排水栓を調節してください。
2. 汚れがなくなったら排水栓を閉じてください
   汚れが多い場合は、数回繰り返します。

配管の点検

配管の保温材破損や水漏れがないか点検します。
水漏れが生じている場合は、据付工事店に連絡してください。
特に冬季に入る前には、必ず保温材の点検を行ってください。
破損している場合は、凍結し本体や配管が破損することがありますので据付工事店に連絡してください。

ストレーナの点検

・「給水口ストレーナ」、「ふろ戻りストレーナ」の2箇所を点検してください。

①タンクユニットの漏電しゃ断器の電源レバーを「OFF」にします。

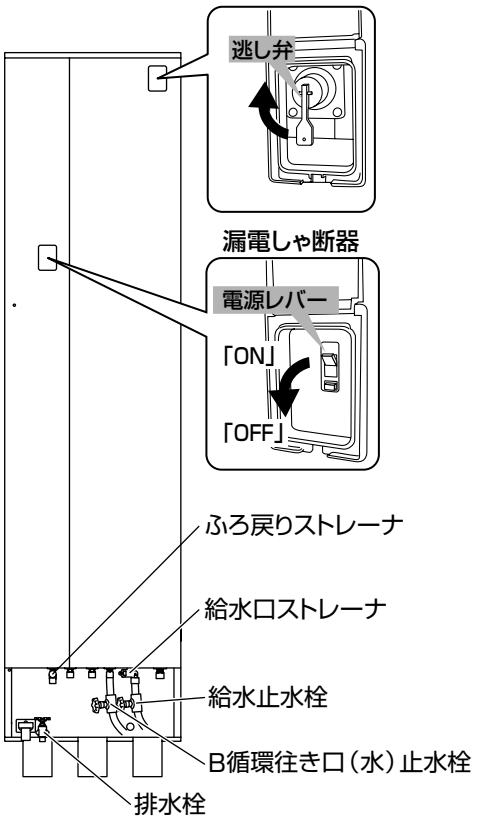
②ヒートポンプユニットが停止したことを確認して給水止水栓を閉じます。

③逃がし弁のレバーを約5秒間上げた後、下げます。

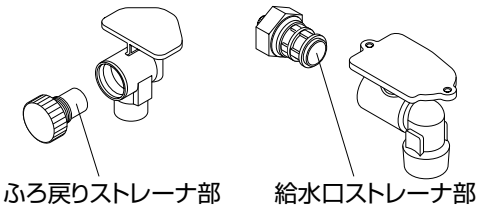
④スパナを使用して「給水口ストレーナ」と「ふろ戻りストレーナ」を取り出し、ゴミ詰まりを確認します。
※熱いお湯が出たり、ストレーナ部が熱くなっていたりしますので、やけどに注意してください。

⑤「給水口ストレーナ」と「ふろ戻りストレーナ」を元に戻します。

⑥給水止水栓を開けてください。



〈各ストレーナ部〉



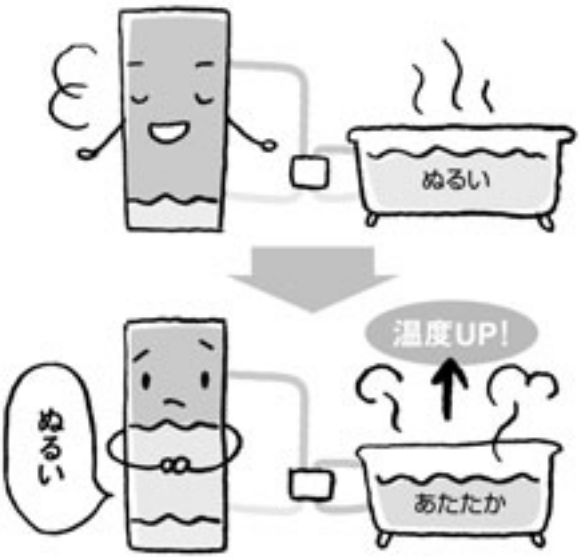
3～4年に1回

● 逆流防止装置の点検（有料）

知っておいていただきたいこと

「追いだき」を何度もすると残湯量は減ります。

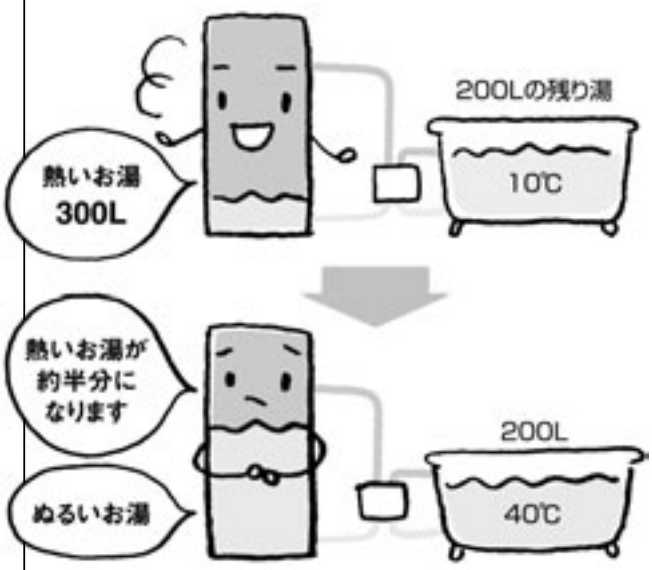
「追いだき」は貯湯タンクのお湯の使用量が多くなります。「タンクの熱いお湯」を「お風呂のぬるいお湯の温度を上げる」ために使います。
「追いだき」を続け過ぎると、タンクのお湯がぬるくなり、残湯量が少なくなります。



※イラストはイメージです。

冬場の残り湯からの「沸き直し」はできません。

冬場の前日の残り湯を使っての
追いだきはできません。

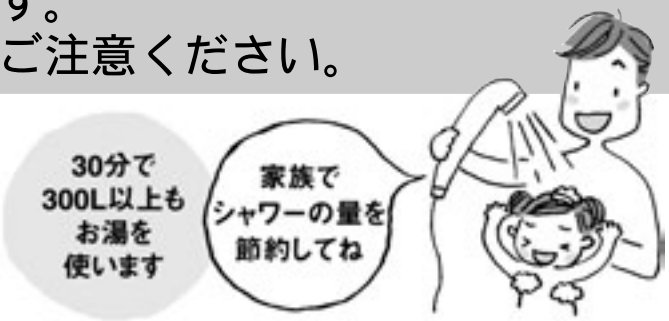


お風呂のお湯が温まるのに
約40分もかかります。

※シャワー量など確保できない場合があります。
※イラストはイメージです。

冬場はシャワーの量が増えます。湯切れの原因となりますのでご注意ください。

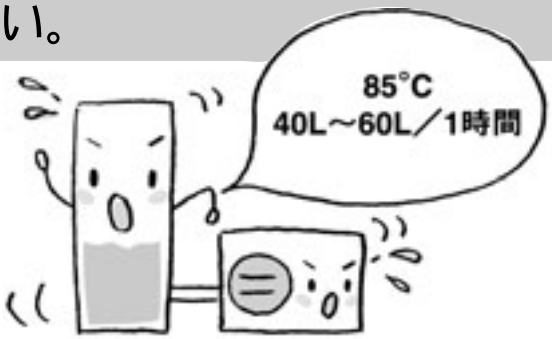
シャワーは1分間に10L～15L近く出湯します。シャワー連続30分で約300L～450Lの使用量となります。流しっぱなしで使用せず、こまめに止めて使用してください。



※370L（85℃）のお湯は、42℃の温度で使用すると、ふろ、台所、シャワー等で約730L相当が使用できます。
※460L（85℃）のお湯は、42℃の温度で使用すると、ふろ、台所、シャワー等で約910L相当が使用できます。

湯切れの時にはすぐに多量のお湯を使えません。「沸きまし」スイッチで沸かしてください。

1時間で沸き上げられる量は約40～60Lです。
ガス給湯機のように、すぐ多量のお湯は使えませんのでご注意ください。



知っておいていただきたいこと

冬場の「深夜のみ」運転にはご注意ください。

「深夜のみ」運転なら、電気代の安い時間帯だけの運転になり経済的です。ただし、深夜以外は沸き上げ運転をしませんので、 特に冬場の湯切れにご注意ください。

昼間でも運転することがあります。

厳しい冬場は満量まで沸き上がっていても凍結予防のため運転をする場合があります。

学習レベルによって、夕方運転する場合があります。

冬場の凍結にご注意ください。

厳しい冬場には凍結する恐れがありますのでご注意ください。

●凍結でお湯が出ない場合は「熱いお湯」を凍結部へ流してとかしてください。
●凍結予防ヒーターを巻いてください。
●保温工事は配管・止水栓・接続部に厚み20mm以上の保温材を巻いてください。

●凍結で風呂運転ができない場合は「熱いお湯」を凍結部へ流してとかしてください。
●凍結予防ヒーターを巻いてください。(50ページ参照)
●保温工事は風呂配管および、その接続部を厚み20mm以上の保温材を巻いてください。

「青い水」について(水が青く見えること)

浴槽内・浴室のタイル・洗面台が青く変色したりすることがあります。これは浴槽の湯垢や石けんなどが微量の銅イオンと反応し、青くなるものです。健康上、害はありません。風呂用の専用洗剤を使うときれいに掃除できます。
(キレート剤、もしくは金属封鎖剤含む風呂用の専用洗剤)

知っておいていただきたいこと

給水圧力をカバーする方法について

①給湯の温度設定を上げる。（混合栓で調整する）
（例）設定を40℃→48℃（60℃）に上げる。あるいは給湯温度の設定を、使用するお湯の温度より5℃くらい高く設定することをおすすめします。（22ページ メモ欄参照）

②また、シャワーの圧力が低い場合は「低水圧シャワーヘッド」を使用すると改善されます。

外気温度と加熱能力の関係について

エアコンと同じように外気の熱をくみ上げて水を沸き上げるシステムのため、外気温度や給水温度が低くなると沸き上げ能力が低下したり、タンクユニットへの貯湯に時間がかかる場合があります。

ヒートポンプユニットの自動除霜運転について

外気温度が下がり、湿度が高いときはヒートポンプユニットの熱交換器に霜や氷が付き、そのままでは加熱能力が下がります。そのため自動的に霜取り運転を行います。
霜取り運転中はタンクユニットへの貯湯は行いませんが、終了後は自動的に通常運転に戻ります。

ヒートポンプユニットの結露水について

ヒートポンプユニットの熱交換器に結露し、この結露水がドレン口から排水されます。
湿度の高いときの運転時や自動除霜運転時は排水量が増える場合があります。
ヒートポンプユニットの排水工事が工事説明書の通りに施工されているか確認してください。

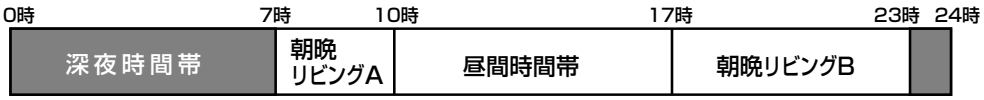
契約電力制度について

■契約電力制度「時間帯別電灯料金（TOU)」について

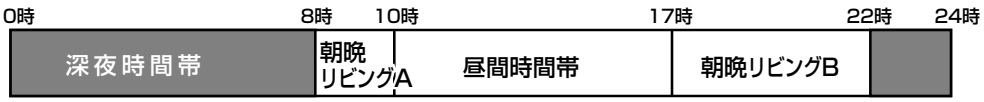
本製品は「時間帯別電灯／季節別時間帯別電灯」契約システムを採用しています。
この契約システムは昼間時間帯と深夜時間帯など、時間帯に分けて電力料金を計算します。
■地域により適用となる電力料金体系が異なります。契約申請や下記にない電力料金体系等については、販売店あるいはもよりの電力会社へお問合せください。
■「時間帯別電灯／季節別時間帯別電灯」契約をおすすめします。

■本製品は、下記のモードを設定してあります。

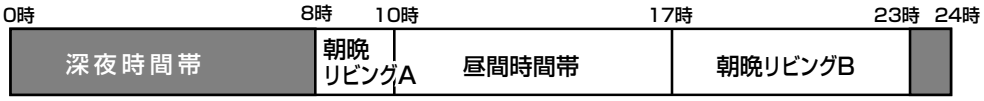
1. 関西電力「はぴeタイム」
東京電力「電化上手」
沖縄電力「Eeらいふ」



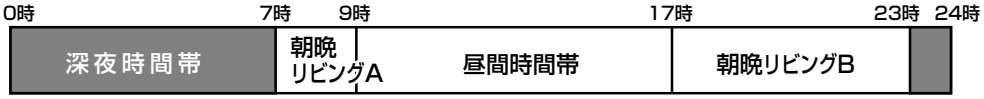
2. 九州電力「電化deナイト」
北陸電力「エルフナイト10プラス」



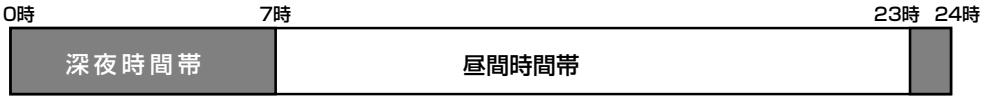
3. 中国電力「ファミリータイム」



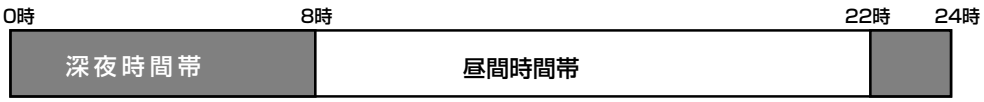
4. 中部電力「Eライフプラン」



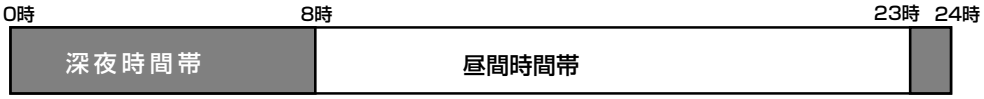
5. 東北電力「やりくりナイト8」
東京電力「おトクなナイト8」
北陸電力「エルフナイト8」
中部電力「タイムプラン」
四国電力「電化Deナイト」
関西・沖縄電力「時間帯別電灯」
四国電力「時間帯別電灯得トクナイト」
九州電力「時間帯別電灯（8時間型）」



6. 東北電力「やりくりナイト10」「やりくりナイトS」
東京電力「おトクなナイト10」
北陸電力「エルフナイト10」
九州電力「よかナイト10」



7. 中国電力「エコノミーナイト」



お願い！

- すでに契約電力制度に合わせて設定されている場合は、変更しないでください。
通常、据付け時に設定しています。適用電力制度が合っていないと思わぬ電気料金がかかることがあります。
販売店にご相談ください。

メモ

- 上記説明の1、2、3、4は「3時間帯運転」です。
- また、5、6、7は「2時間帯運転」です。

停電・断水のとき・災害時のとき

停電したとき

本機はメモリ機能がついていますので、短時間の停電であれば「現在時刻」や「タイマー時刻」は記憶しています。
ただし、リモコンの時刻表示が「- --」になった場合は使いかたの説明のページに従って再設定してください。

次の場合も、処置をしてください。

- ふろ湯張り中は
  瞬時停電の場合は問題ありませんが、「停止」している場合は、排水をしてから再度ふろスイッチを押してください。
  また、浴槽の湯が冷めてしまった場合や湯張り中の場合も排水をしてからふろスイッチを押してください。
- ヒートポンプの沸き上げ
  時刻表示が「- --」の場合は、必ず時刻を合わせをしてください。

※ 停電中でもお湯は使えますが、設定した温度のお湯が出ない場合があります。

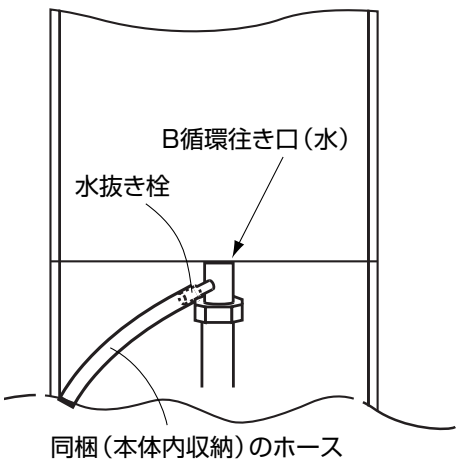
断水や近くで水道工事が行われるとき

工事が行われる前に、使用を中止してから給水止水栓を閉じてください。
工事が終了したら、水道用水栓を開き、水の汚れがなくなったのを確認してから、給水止水栓を開いて使用を再開してください。

災害時のとき

地震などの災害時や断水時に貯湯タンク内の水を生活用水（雑用水）として利用できます。

① 貯湯タンクユニットの漏電しゃ断器を「OFF」にする。
② 給水止水栓を閉じる。
③ 逃し弁のレバーを上げる。
④ B循環往き口（水）の水抜き栓を開く。
⑤ 同梱（本体内収納）のホースをB循環往き口（水）の水抜き栓へ差し込む。水をバケツなどで受けてください。



〈取水が終ったら〉

- 同梱（本体内収納）のホースを取りはずし、B循環往き口（水）の水抜き栓を閉める。

〈再びご使用になるときは〉

- 49ページの 再運転させるとき にしたがってください。

⚠警告

- 水抜き栓やホースからは、熱湯が出てくることがあります。やけどに注意してください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に

次のような状態は故障ではありません。

症　状	原　因・処　置
ヒートポンプユニットまたはタンクユニットのポンプが運転／停止をくり返す	●凍結予防運転をしている場合は、間欠運転をします。（50ページ） ●ふろ配管の凍結予防運転を選んでいる場合、外気温が約3℃以下になるとふろ循環ポンプが運転します。運転音が聞こえることがありますが異常ではありません。
運転中、ヒートポンプユニットの熱交換器が白くなる	冬期運転中は熱交換器に霜が付くことがあります。 霜が多くなると自動的に霜取り運転します。
ヒートポンプユニットのファンが運転／停止をくり返す	熱交換器に付いた霜を取り除くため、自動的に霜取り運転を行っているためです。
逃し弁からお湯が出てくる	運転時は、タンクユニット内の水の温度が上昇して膨張し、その膨張分が逃し弁から排出されたものです。
お湯が白く濁ってみえる	水中に溶け込んでいた空気が、蛇口を開けたときに細かい泡となって出てくるためです。
深夜時間帯になっても、すぐ沸き上げを行わない	給水温度が高い場合や残湯量が多い場合は、深夜時間帯になってもすぐに沸き上げを行いません。 深夜時間帯が終了する時間に合わせて沸き上げを完了させます。 （ピークシフト機能）
深夜時間帯にヒートポンプユニットが動いていない	
沸き上げ運転中にヒートポンプユニットのドレン口から水が出る	運転中は熱交換器に空気中の水蒸気が結露し、水が出てくることがあるためです。
お湯から油が出る、お湯が臭い	はじめて使用するときは、配管工事のときの油や臭いがお湯に混ざって出る場合があるためです。しばらくすると消えます。 消えない場合は販売店に相談してください。
リモコンの時刻表示が「－ －－」になる	長時間停電した場合は表示が「－ －－」になります。 時刻合わせをしてください。（12ページ）
水が青く見える 浴槽や洗面台が青く変色した	●透明なガラスのコップに水を入れ、無色透明でしたら異常ではありません。 ●浴槽や洗面台に付着したせっけんや湯あかと水中に含まれるわずかな銅イオンが反応し、銅せっけんとなって浴槽の水が青く見えたり、浴槽や洗面台が青く変色したりすることがあります。 健康上の問題はありませんので、浴槽や洗面台はふろ用洗剤（キレート剤入り）を使用して掃除してください。（55ページ）
リモコンから音が出ない	設定がOFFになっていませんか。 設定を変更してください。（40～42ページ）
シャワーが弱い	●給湯の設定温度を上げて水と混ぜると、シャワー圧が上がる場合があります。 ●「低水圧用シャワーヘッド」に交換すると、シャワーの勢いが強くなります。（56ページ）
ふろ自動運転中に湯張りが停止する	浴槽水を確認するためで異常ではありません。 （約3～5分かかる場合があります。）
湯張り時間が長い 給湯の出が悪い	給水圧が低い場合やストレーナがつまっている場合がありますので、販売店に相談してください。

修理を依頼される前に

次のような状態は故障ではありません。

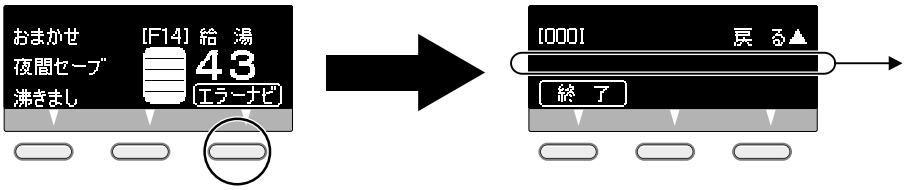
症　状	原　因・処　置
タンク残湯表示の減りが早い	●「追いだき」を使うと、タンク残湯量の減りが早くなります。 ●ふろ自動運転の保温時間（29ページ参照）が長いと、追いだきを何回も行うことになるため、タンク残湯表示の減りが早くなります。
ふろリモコンが操作を受け付けない	チャイルドロックがかかっていると、ふろリモコンの操作ができません。ふろリモコンのメニュースイッチを3秒長押しして解除してください。

故障かな？と思ったら（つづき）

リモコンにエラー表示された場合（エラーナビ）

リモコンの時計表示部にエラーコードが表示された場合は、「エラーナビ」と表示された選択スイッチを押して指示に従ってください。指示にもとづいた事を行ってもエラーコードが消えない場合は、販売店にご相談ください。

（エラーナビの表示例）



「エラーナビ」と表示された選択スイッチを押す。

エラーの解除方法や対処方法が表示されます。
（エラーの解除方法や対処方法を実施してもエラー表示が出る場合はお買い上げの販売店へご連絡ください。）

■ お知らせ表示（故障ではありません）

リモコンの時計表示部にエラーが表示された場合は次の処置をしてください。

表　示	原　因	処　置	エラー表示のリセット
[F14]	給水止水栓が閉まっている場合。	給水止水栓を開いてください。	ふろスイッチを押すか、優先スイッチを押すか、蛇口からお湯を出すかすると消えます。 ※それでもエラー表示が出る場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。
[F23] [F30]	ヒートポンプユニットとタンクユニットの循環にエアやゴミなどがある場合。	49ページの **再運転させるとき** に従ってください。	
[F41]	浴槽の排水栓を開けたままふろ自動運転をした場合や、ふろ自動運転中に排水栓を抜いた場合。 ふろ戻りストレーナにゴミなどが詰まった場合	●浴槽の排水栓を閉じてから、再度ふろスイッチを押してください。 ●52ページの「ストレーナの点検」を行ってください。	
[F42]	設置後最初の湯張りが途中で止まった場合。	浴槽の残水を排水してから、再度ふろスイッチを押してください。	
[F44]	追いだきを1時間行ってもふろ設定温度まで達しなかった場合。	残り湯を完全に排水してから、ふろスイッチを押してください。 タンク残湯量を確認し、30ページを参照してください。	
[F45]	ふろ戻りストレーナにゴミなどが詰まった場合	52ページの「ストレーナ点検」を行ってください。	
[Lo]	ふろ自動運転中および追いだき運転中に湯切れとなった場合。	リモコンの「タンク残量表示」が3つ以上になるまで待ってください。	リモコンのふろスイッチまたは、追いだきスイッチを2回押してください。
品番を確認してください	リモコンの機種違いの場合。	お買い上げの販売店へご連絡ください。	――――

■ その他の表示

表　示	原　因	処　置
[H01] ～ [H17]	ヒートポンプユニット関係の表示です。	● ふろスイッチを押す ● 優先スイッチを押す ● 蛇口からお湯を出す のいずれかの操作を行ってもエラー表示が消えない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。
[F01] ～ [F55]	貯湯タンクユニット関係の表示です。	

メモ

●発生したエラーの種類によっては、リモコンのスイッチを受け付けても、動作しない場合があります。

エラー表示がない場合

症　状	原　因	処　置
リモコンの表示がでない（電源が入らない）	200V電源ブレーカーが「切（OFF)]になっている。	「切（OFF)]になっている場合は、「入（ON）」にする。
	漏電しゃ断器の電源レバーが「切（OFF)]になっている。	「切（OFF)]になっている場合は、「入（ON）」にする。 再度「切（OFF)]になる場合は、そのまま販売店へご連絡ください。
	停電している	停電が復帰するまで待つ。
お湯が出ない お湯の出が悪い	給水止水栓が閉じている	給水止水栓を開く。
	断水している／給水圧が低い	水道局または管理者へ問い合わせる。
	給水ストレーナにゴミが詰っている	販売店へご連絡ください。
	配管が凍結している	
	停電している	停電が復帰まで待つ。
お湯がぬるい お湯が足りない 残湯量表示の減りが早い	給湯温度の設定が低い	給湯温度の設定を高くする。
	沸き上げ運転時以外でも、逃し弁排水口からお湯（水）がもれている	逃し弁の点検をする。（52ページ） 逃し弁が正常でもお湯が出ている場合は、販売店へご連絡ください。
	タンク内のお湯がない	9、11ページのタンク残湯表示をめやすに運転モードを切り替える。
	各配管の断熱が不十分	販売店へご連絡ください。
	お湯の使用量が多い	流しっぱなしで使用せず、こまめに止めて使用してください。
浴槽のお湯が熱い	ふろ温度の設定が高い	ふろ温度の設定を低くする。または、「差し水」をする。
	追いだき、または差し湯運転中	追いだき、または差し湯運転を解除する。
浴槽のお湯がぬるい	ふろ配管の保温工事が不完全	55ページを参照し、販売店へご連絡ください。
浴槽のお湯が少ない	ふろの水位設定が低い	水位設定を高くする。（25ページ）
浴槽のお湯が多い	ふろの水位設定が高い	水位設定を低くする。（25ページ）
	浴槽に残湯が多い状態で湯張りした	浴槽の残湯を排水してから湯張りする。
追いだき運転ができない	湯張り中	湯張りが完了してから追いだき運転する。
	湯量注意が点灯	湯量注意が消えるまで待ってから追いだき運転する。
	蛇口でお湯を使用している	蛇口でお湯を使用しているときは、追いだき運転が一時中断する場合があります。
給湯温度を変更できない	リモコンに優先権がない	台所リモコンで変更する場合は、ふろリモコンの優先スイッチを切ってから変更してください。 ふろリモコンで変更する場合は、ふろリモコンの優先スイッチを押してから変更してください。

故障かな？と思ったら（つづき）

エラー表示がない場合

症　状	原　因	処　置
ヒートポンプユニットの停止中に排水口から水が出ている	逃し弁の故障	逃し弁の点検をしてください。（52ページ） 逃し弁が正常でもお湯が出ている場合は、販売店へご連絡ください。
お湯が設定温度にならない	蛇口からのお湯が極端に少ない場合	蛇口をもっと開けてください。
	給水温度が高い場合	蛇口から2～3分水を出してください。
リモコンで通話中に雑音が入ったり音声が途切れる	スピーカ部の穴に水がかかっている	水滴をタオル等で拭きとってください。
	リモコンコードを指定されたものを使用していない。	販売店へご連絡ください。
	リモコンに水蒸気があたっている。	台所リモコンに水蒸気があたらないようにしてください。

仕　様　EBS-46QTA2

システム

種類	屋外式
電源および周波数	単相200V　50／60Hz共用
運転電流	7.5A／7.6A
最大電流	16A
消費電力	1.413／1.433kW

貯湯タンクユニット

形式		EB−46QTA2
タンク容量		460L
使用圧力		190kPa（1.9kgf/cm²）
外形寸法（H×W×D）		2220×630×730mm
製品質量		91kg（満水時 551kg）
消費電力		163／183W（凍結予防ヒーター含む）
配管	給水・給湯接続	R3／4
	ふろ循環接続	R1／2（推奨Φ10樹脂管保温付）配管長15m10曲り以内　鳥居配管3m以内※1
	ユニット間接続	R1／2（推奨Φ10樹脂管保温付）配管長25m 6曲り以内　鳥居配管3m以内
貯湯温度		約90℃～約65℃
ふろ自動時間		最大8時間
自動湯張り時間（めやす）		約20分程度（200L 5m配管）
浴槽設置		タンクユニット下端より上4m以下、下1m以下
タンク		特殊ステンレス鋼板
追いだき熱交換器		プレート式
配管内蔵部品		減圧弁・逃し弁
安全装置		漏電しゃ断器
付属部品		取扱説明書、工事説明書、保証書、ホース（災害時取水用）

ヒートポンプユニット

形式	EB−60HPA2
使用冷媒および封入量	CO_2　0.9kg
外形寸法（H×W×D）	690×840×290mm（突起部除く）
製品質量	62kg
中間期加熱能力／消費電力 ※2	6.0kW／1.25kW
夏期加熱能力／消費電力 ※3	6.0kW／1.16kW
冬期加熱能力／消費電力 ※4	6.0kW／1.49kW
冬期高温加熱能力／消費電力 ※5	6.0kW／1.77kW
中間期COP	4.8
運転音 ※2	40dB（夜間セーブ運転時38dB）
設計圧力	14MPa／8MPa
圧縮機	DCロータリー2段圧縮
熱交換器（蒸発器）	強制空冷式
熱交換器（冷媒対水）	接触式
安全装置	過負荷保護装置・高圧スイッチ・温度過昇防止装置

※1 内径13mmの樹脂管使用時は25m10曲り以内となります。
　ただし、リモコン線は20mまでです。
※2 外気温（乾球温度/湿球温度）16℃/12℃、水温17℃、沸き上げ温度65℃
※3 外気温（乾球温度/湿球温度）25℃/21℃、水温24℃、沸き上げ温度65℃
※4 外気温（乾球温度/湿球温度）7℃/4℃、水温9℃、沸き上げ温度65℃
※5 外気温（乾球温度/湿球温度）7℃/6℃、水温9℃、沸き上げ温度85℃

運転制御仕様

給湯湯張り	給湯温度調節		36℃～48℃、60℃
	湯張り	温度調節	36℃～45℃
		水位調節	浴槽アダプターの上、約10～15cm※6から上方に2cm※7刻みの7段階設定
保温	能力		8.0kW（6,880kcal/h）
	方式		間接加熱
	保温時間		30分毎の自動保温、連続追いだき時間60分
凍結予防	給湯		水抜き
	ふろ		水抜き（自動凍結予防運転選択可能）
	ユニット間		自動凍結予防運転
給水圧力			200kPa（2.0kgf/cm²）以上

※6 浴槽の大きさによって変わります。設定変更により約8～30cmに変更可能
※7 設定変更により4cm刻みに変更可能

別売部品

リモコンコード（EBP-R10M、EBP-R20M）、脚部配管カバー（EBP-HKF37）
浴槽アダプター（EBP-FJSN、EBP-FJLN）、浴室用屋外カバーセット（EBP-FHK）

仕　様　EBS-37QTA2

システム

種類	屋外式
電源および周波数	単相200V　50／60Hz共用
運転電流	5.7A／5.8A
最大電流	16A
消費電力	1.078／1.098kW

貯湯タンクユニット

形式		EB−37QTA2
タンク容量		370L
使用圧力		190kPa（1.9kgf/cm²）
外形寸法（H×W×D）		1895×630×730mm
製品質量		84kg（満水時 454kg）
消費電力		163／183W（凍結予防ヒーター含む）
配管	給水・給湯接続	R3／4
	ふろ循環接続	R1／2（推奨Φ10樹脂管保温付）配管長15m10曲り以内　鳥居配管3m以内　※1
	ユニット間接続	R1／2（推奨Φ10樹脂管保温付）配管長25m　6曲り以内　鳥居配管3m以内
貯湯温度		約90℃～約65℃
ふろ自動時間		最大3時間
自動湯張り時間（めやす）		約20分程度（200L 5m配管）
浴槽設置		タンクユニット下端より上4m以下、下1m以下
タンク		特殊ステンレス鋼板
追いだき熱交換器		プレート式
配管内蔵部品		減圧弁・逃し弁
安全装置		漏電しゃ断器
付属部品		取扱説明書、工事説明書、保証書、ホース（災害時取水用）

ヒートポンプユニット

形式	EB−45HPA2
使用冷媒および封入量	CO_2　0.86kg
外形寸法（H×W×D）	690×840×290mm（突起部除く）
製品質量	61kg
中間期加熱能力／消費電力 ※2	4.5kW／0.915kW
夏期加熱能力／消費電力 ※3	4.5kW／0.845kW
冬期加熱能力／消費電力 ※4	4.5kW／1.10kW
冬期高温加熱能力／消費電力 ※5	4.5kW／1.50kW
中間期COP	4.9
運転音 ※2	38dB（夜間セーブ運転時37dB）
設計圧力	14MPa／8MPa
圧縮機	DCロータリー2段圧縮
熱交換器（蒸発器）	強制空冷式
熱交換器（冷媒対水）	接触式
安全装置	過負荷保護装置・高圧スイッチ・温度過昇防止装置

※1 内径13mmの樹脂管使用時は25m10曲り以内となります。
　ただしリモコン線は20mまでです。
※2 外気温（乾球温度/湿球温度）16℃/12℃、水温17℃、沸き上げ温度65℃
※3 外気温（乾球温度/湿球温度）25℃/21℃、水温24℃、沸き上げ温度65℃
※4 外気温（乾球温度/湿球温度）7℃/4℃、水温9℃、沸き上げ温度65℃
※5 外気温（乾球温度/湿球温度）7℃/6℃、水温9℃、沸き上げ温度85℃

運転制御仕様

給湯湯張り	給湯温度調節		36℃～48℃、60℃
	湯張り	温度調節	36℃～45℃
		水位調節	浴槽アダプターの上、約10～15cm※6から上方に2cm※7刻みの7段階設定
保温	能力		8.0kW（6,880kcal/h）
	方式		間接加熱
	保温時間		30分毎の自動保温、連続追いだき時間60分
凍結予防	給湯		水抜き
	ふろ		水抜き（自動凍結予防運転選択可能）
	ユニット間		自動凍結予防運転
給水圧力			200kPa（2.0kgf/cm²）以上

※6 浴槽の大きさによって変わります。設定変更により約8～30cmに変更可能
※7 設定変更により4cm刻みに変更可能

別売部品

リモコンコード（EBP-R10M、EBP-R20M）、脚部配管カバー（EBP-HKF37）
浴槽アダプター（EBP-FJSN、EBP-FJLN）、浴室用屋外カバーセット（EBP-FHK）

アフターサービス

保証書（別紙）について

お買い上げの販売店が所定事項を記入してお渡ししますので、記載事項をお確かめのうえ大切に保管してください。

保証期間はお買い上げの日より2年間です。
ただし、熱交換器およびコンプレッサーは3年間、タンクは5年間です。

- 保証書の記載内容によりお買い上げの販売店が修理いたします。その他の詳細は保証書をご覧ください。
- 保証期間が過ぎてからの修理については、お買い上げの販売店、または「お客様サービス受付センター」にご相談ください。お客さまの希望により有料修理いたします。

この取扱説明書と本体に表示されている禁止事項・注意事項および通常使用に反して使用された場合の故障・事故は補償いたしません。

補修用性能部品の保有期間について

ヒートポンプ給湯機の補修用性能部品の保有期間は製造打切り後、10年です。

- 補修用性能部品とは、製品の機能を維持するために必要な部品です。

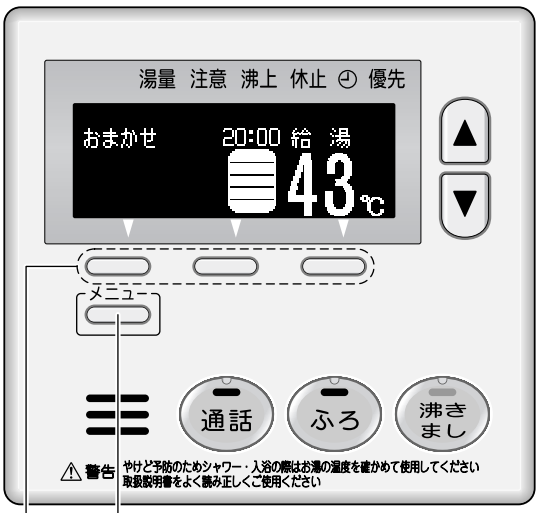
転居される場合

- 撤去、再設置工事は必ず専門業者に依頼してください。

連絡先（電話番号）について

次の手順で、リモコンに施工店または販売店の電話番号を入力してください。

台所リモコン



メニュースイッチ

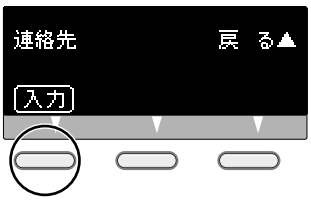
選択スイッチ

台所リモコンで操作します

1 メニュー を3回押す

2 「連絡先」と表示された選択スイッチを押す

3 「入力」と表示された選択スイッチを押す



4 ▲▼ で一桁目の番号を選択し、「▶」と表示された選択スイッチを押します

5 全ての番号の入力が完了するまで、**4** の手順を繰り返す

6 「設定」と表示された選択スイッチを押す

- 上記画面が表示されれば設定完了です。

台所 *設定しました。*

アフターサービス

保証書（別紙）について

お買い上げの販売店が所定事項を記入してお渡ししますので、記載事項をお確かめのうえ大切に保管してください。

保証期間はお買い上げの日より2年間です。
ただし、熱交換器およびコンプレッサーは3年間、タンクは5年間です。

- 保証書の記載内容によりお買い上げの販売店が修理いたします。その他の詳細は保証書をご覧ください。
- 保証期間が過ぎてからの修理については、お買い上げの販売店、または「お客様サービス受付センター」にご相談ください。お客さまの希望により有料修理いたします。

この取扱説明書と本体に表示されている禁止事項・注意事項および通常使用に反して使用された場合の故障・事故は補償いたしません。

補修用性能部品の保有期間について

ヒートポンプ給湯機の補修用性能部品の保有期間は製造打切り後、10年です。

- 補修用性能部品とは、製品の機能を維持するために必要な部品です。

転居される場合

- 撤去、再設置工事は必ず専門業者に依頼してください。

お客様サービス受付センター

0120-330-515

FAX. 0120-553-286

受付時間 年中無休 365日／24時間

●サービスを依頼されるときは、次のことをおしらせください。

①形式名：EBS－37QTA2、EBS－46QTA2
②現象：異常・故障等詳しく
③ご住所、お名前、電話番号
④道順：付近の目印も

サンデン株式会社

〒110-8555 東京都台東区台東1－31－7
http://www.sanden.co.jp

71564119423000